

山口県立大学卒業生調査報告書

2023年3月

公立大学法人山口県立大学

1. 業務の目的と実施方法

(1) 調査の目的

山口県立大学（以下「本学」）の学びに対する満足度、役立ち度、達成度を調査することにより学修成果やキャリア形成を把握するほか、本学に対する助言・改善点を求めることで、教育のPDCAサイクルを回しつつ、今後の教育の質や内容・大学運営の改善に活用する。

(2) 調査方法概要

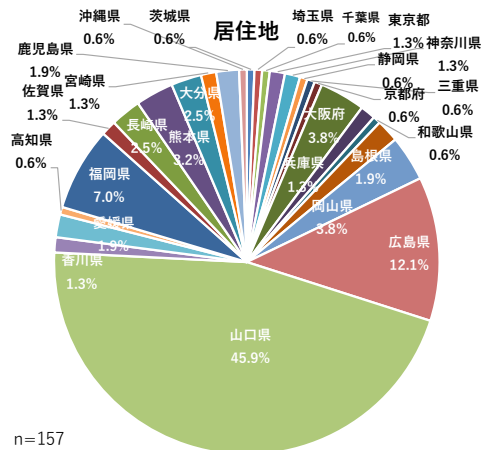
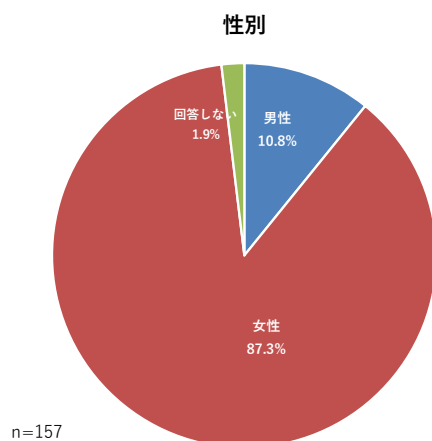
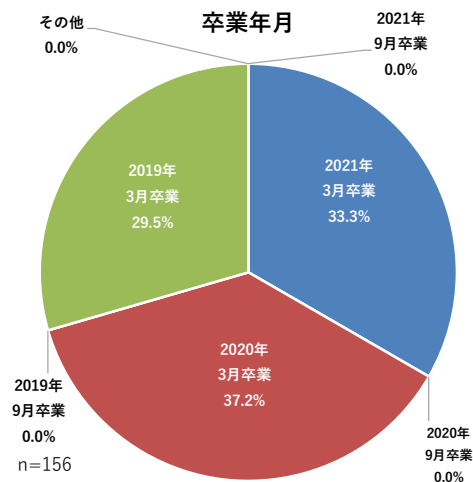
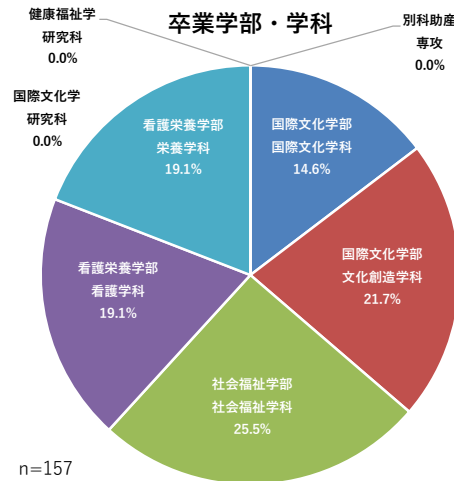
本学にて2019～2021年の卒業生881名を抽出し、WEBにてアンケートを実施した。具体的には、対象先にアンケート協力依頼ハガキ（V型圧着ハガキ）を送付した上で、ハガキ記載のURL経由で回答フォームにアクセスしてもらう形とした（実施期間：2月22日～3月8日）。

有効回答数は157件で、回収率は17.8%となった。

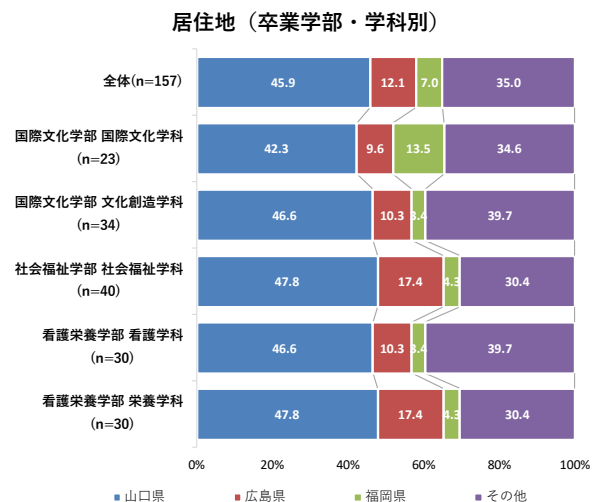
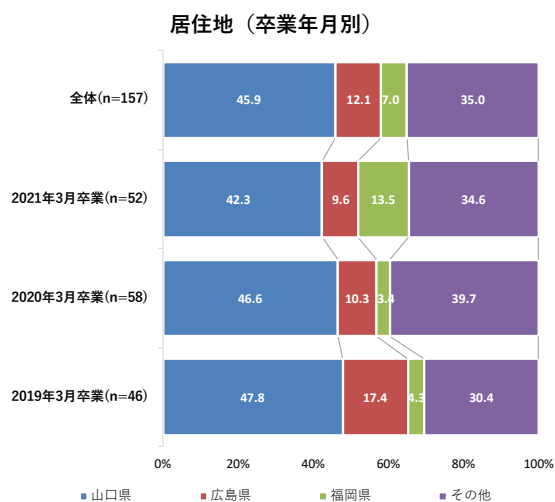
2. 調査結果

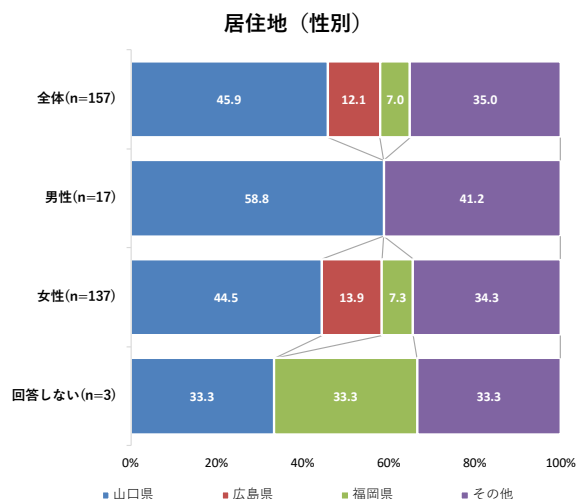
① 属性

回答者の属性は以下の通りである。全体の約9割が女性で、4割超が山口県内在住である。



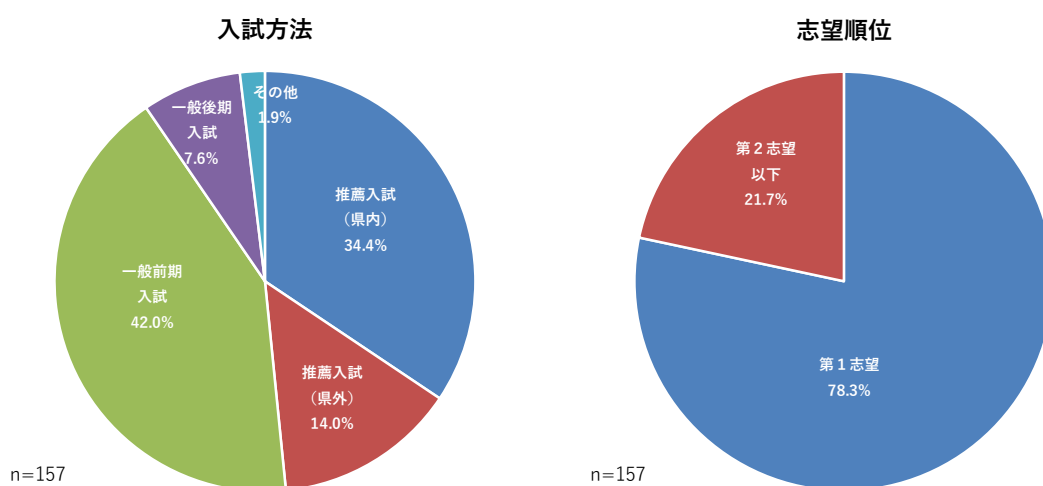
なお、居住地（山口・広島・福岡3県とその他に統合）について卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計を行ったところ、以下の通りとなった。





② 入学時の状況について

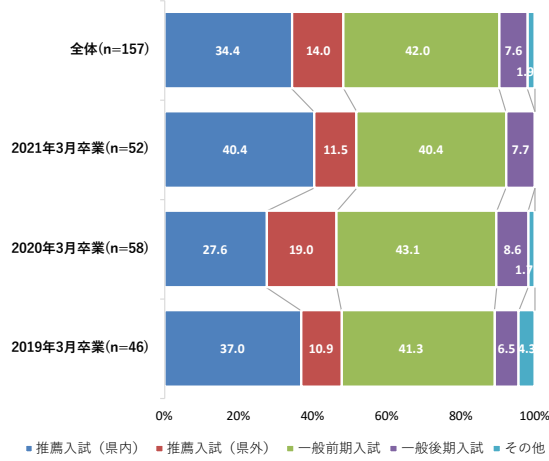
入試方法については、「一般前期入試」が4割超と最も多く、「推薦入試（県内）」も3割を超えた。また、志望順位に関しては、約8割が「第1志望」であった。



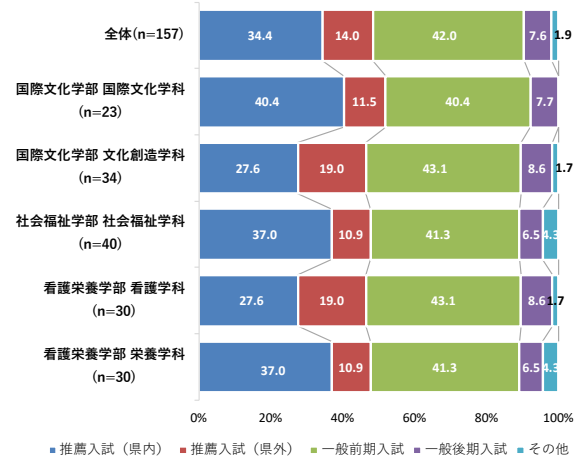
なお、入試方法の「その他」は、編入学、編入試験、補欠合格という回答であった。

入試方法や志望順位について、卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計を行ったところ、次ページ以降の通りとなった。全体として大きな違いはみられないものの、男性のほぼ半数が「推薦入試（県内）」となっている。

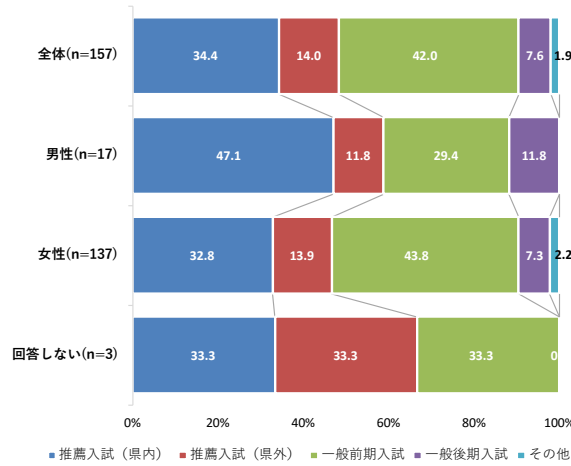
入試方法（卒業年月別）



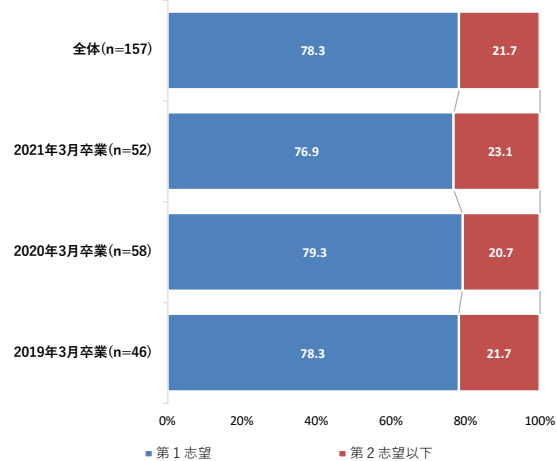
入試方法（卒業学部・学科別）



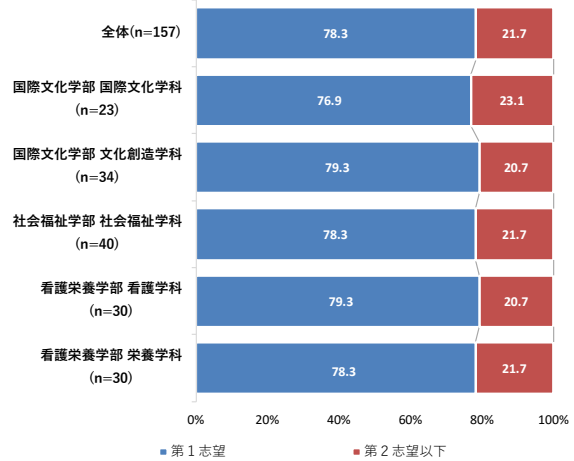
入試方法（性別）

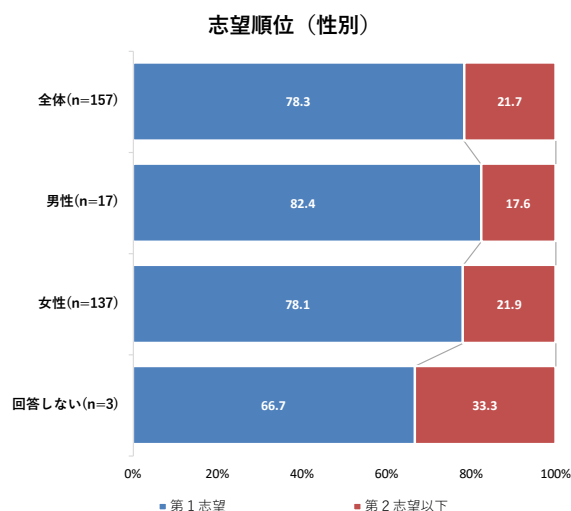


志望順位（卒業年月別）



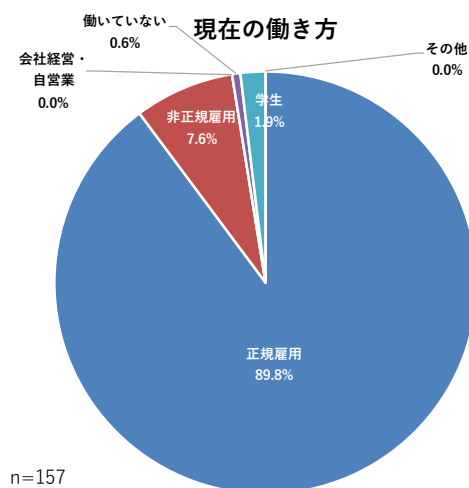
志望順位（卒業学部・学科別）



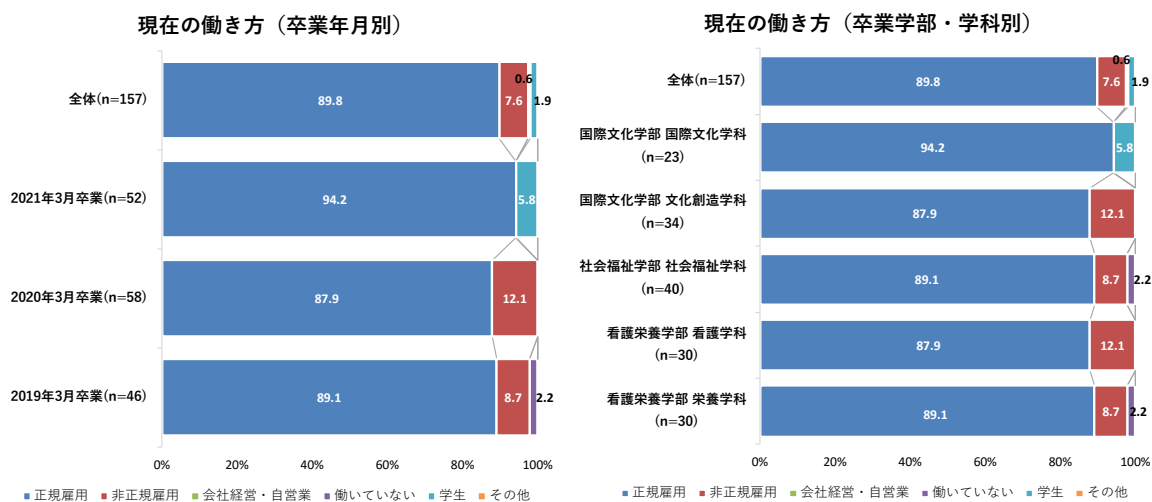


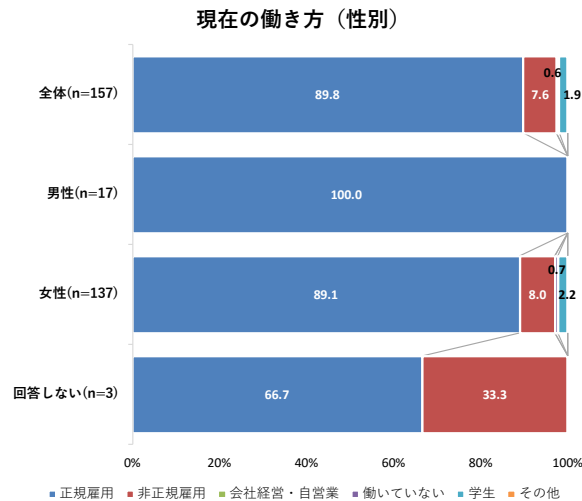
③ 現在の職業について

現在の働き方については、「正規雇用」が9割近くに達した。

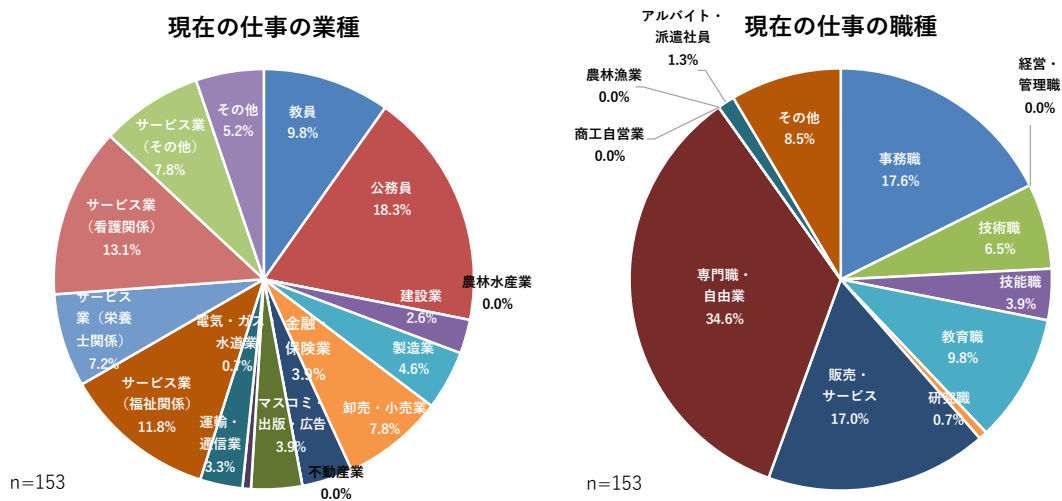


現在の働き方について、卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計を行ったところ、以下の通りとなった。男性は全員「正規雇用」である一方、女性の8%は「非正規雇用」である。



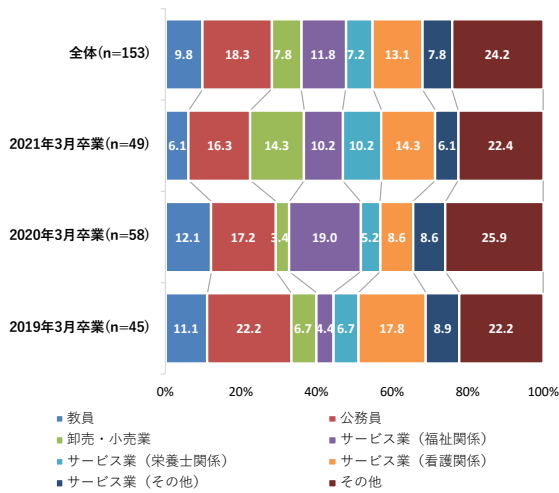


仕事の業種に関しては、「公務員」が約2割と最多で、「サービス業（看護関係）」「サービス業（福祉関係）」が1割を超えたほか、「教員」がほぼ1割に達した。また、職種については「専門職・自由業」が3分の1強を占めたほか、「事務職」と「販売・サービス」が1割台後半となった。「専門職・自由業」には、看護師や介護福祉士など専門性の高い仕事が含まれているものとみられる。

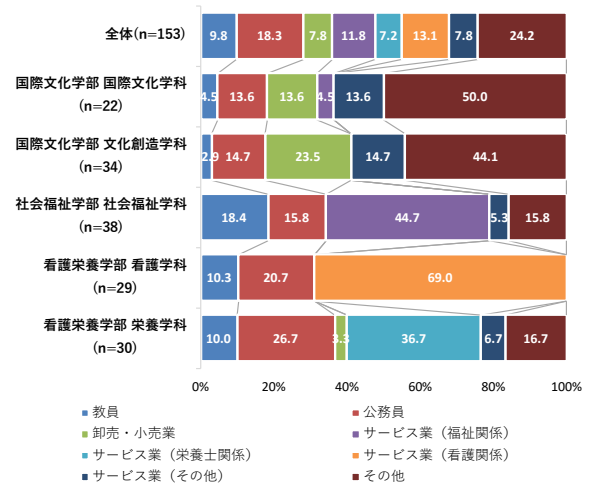


現在の仕事の業種及び職種について、卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計（選択肢を統合）を行ったところ、次ページの通りとなった。社会福祉学部社会福祉学科卒業生の4割超が「サービス業（福祉関係）」、看護栄養学部看護学科卒業生のほぼ7割が「サービス業（看護関係）」で働くなど、卒業学部・学科による違いが見受けられる。

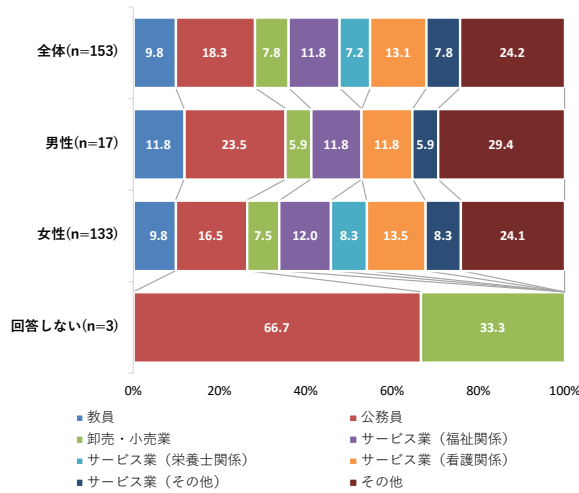
現在の仕事の業種（卒業年月別）



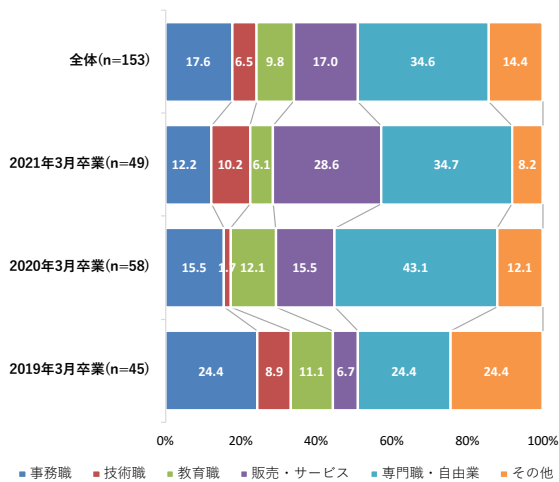
現在の仕事の業種（卒業学部・学科別）



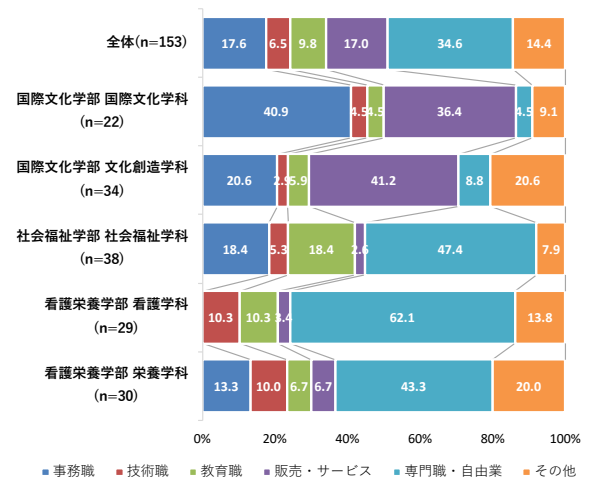
現在の仕事の業種（性別）



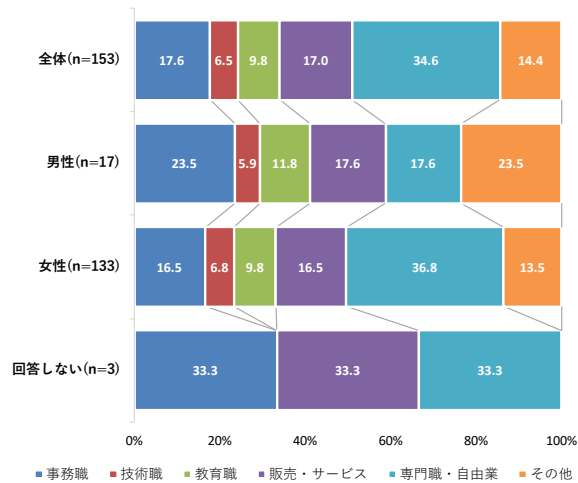
現在の仕事の職種（卒業年月別）



現在の仕事の職種（卒業学部・学科別）

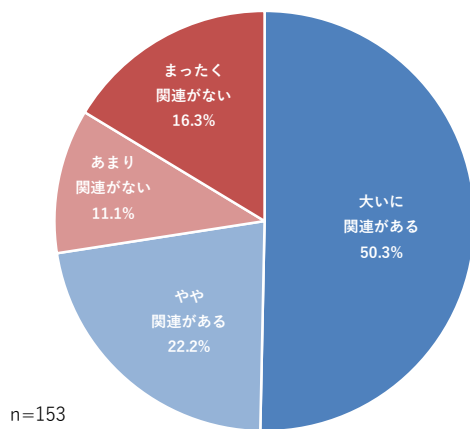


現在の仕事の職種（性別）

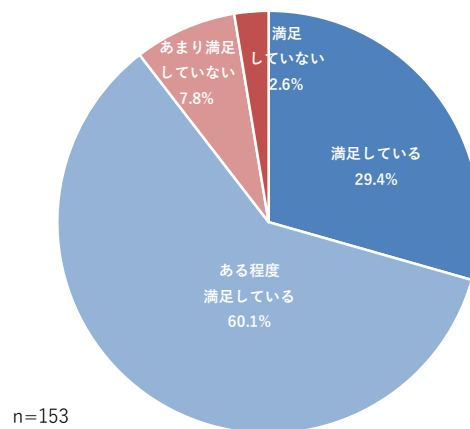


現在の仕事と専攻分野との関係は、「大いに関連がある」が半数を占め、「やや関連がある」を含めると7割を超えた。また、現在の仕事の満足度については、「ある程度満足している」が6割と最多で、「満足している」を含めるとほぼ9割となった。一方、現在の仕事内容と卒業時点の希望との関係については、「合致している」が4割を超え、「やや合致している」を含めると8割に達した。

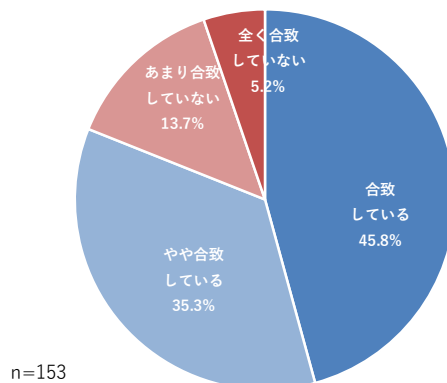
現在の仕事内容と専攻分野との関係



現在の仕事の満足度

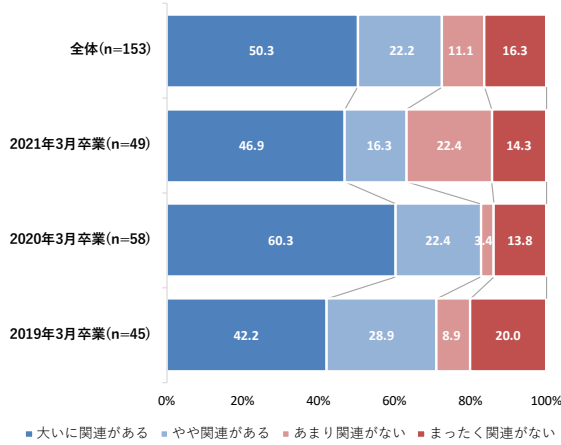


現在の仕事内容と卒業時点の希望との関係

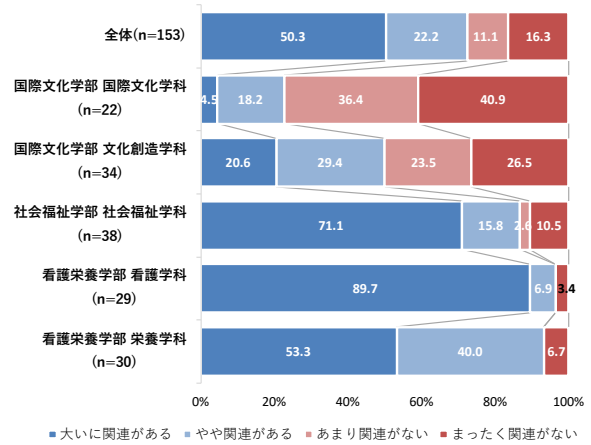


これら3項目について、卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計を行ったところ、以下の通りとなった。国際文化学部の卒業生において、現在の仕事内容と専攻分野の関係が薄い傾向にある。

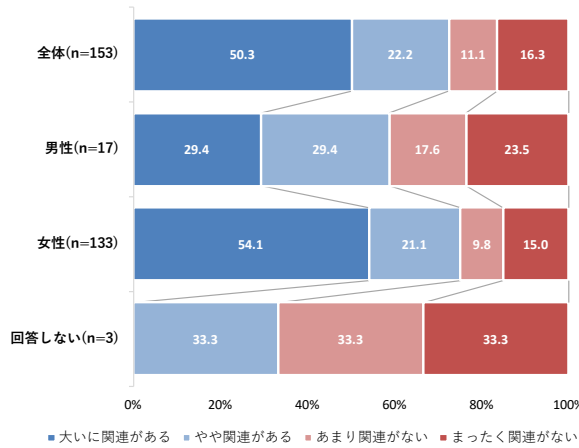
現在の仕事内容と専攻分野との関係
(卒業年月別)



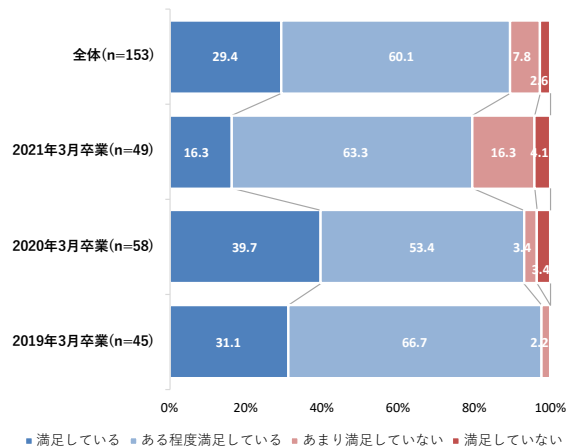
現在の仕事内容と専攻分野との関係
(卒業学部・学科別)



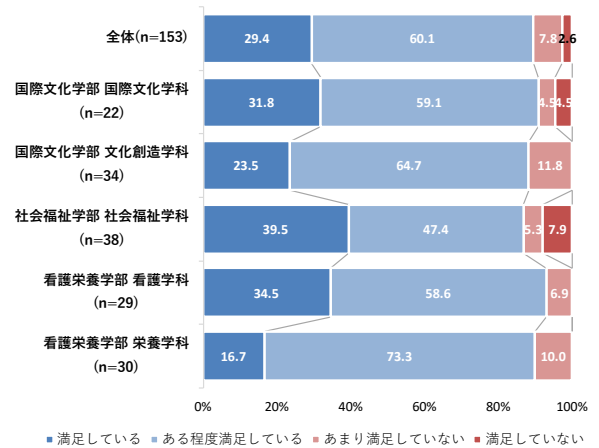
現在の仕事内容と専攻分野との関係
(性別)



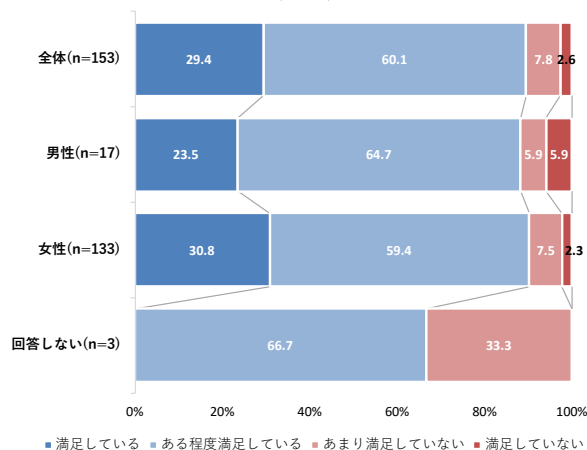
現在の仕事の満足度
(卒業年月別)



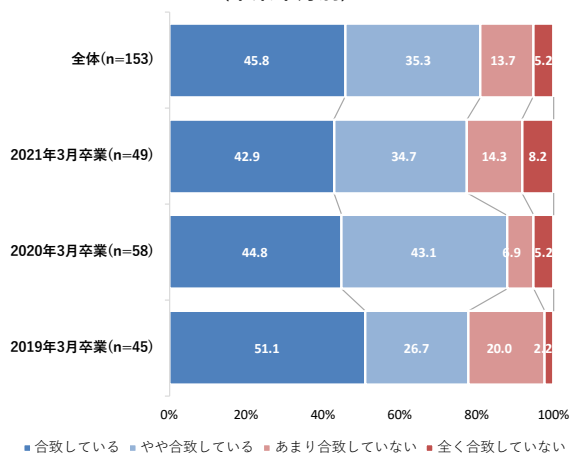
現在の仕事の満足度
(卒業学部・学科別)



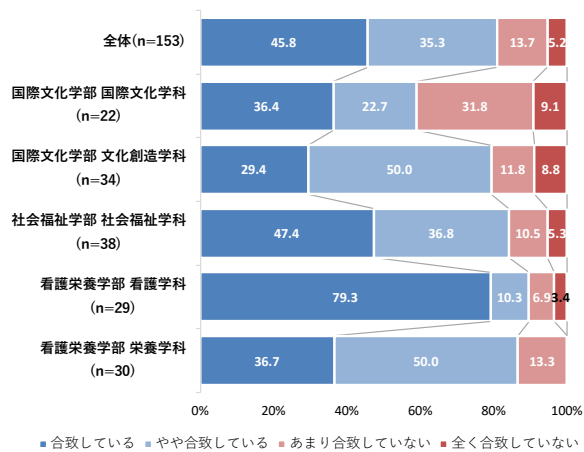
現在の仕事の満足度 (性別)



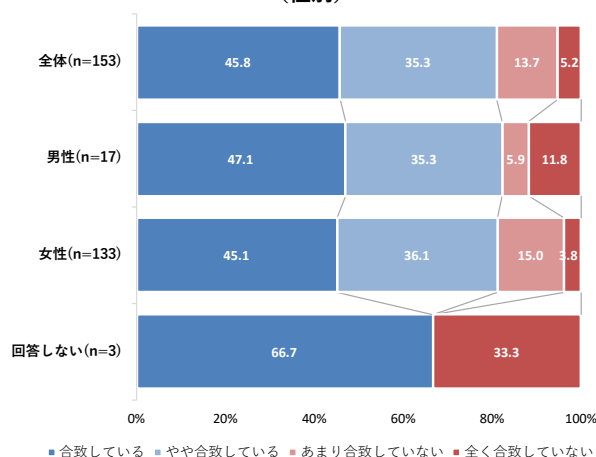
現在の仕事と卒業時点の希望との関係 (卒業年月別)



現在の仕事と卒業時点の希望との関係 (卒業学部・学科別)

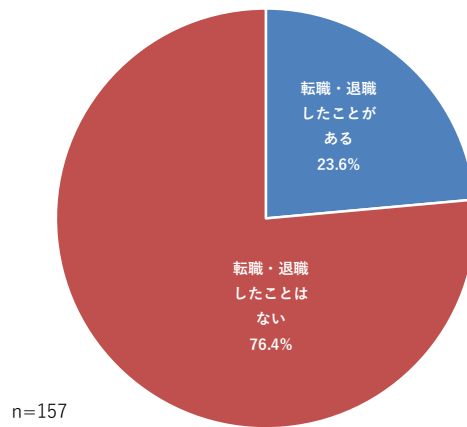


現在の仕事と卒業時点の希望との関係 (性別)



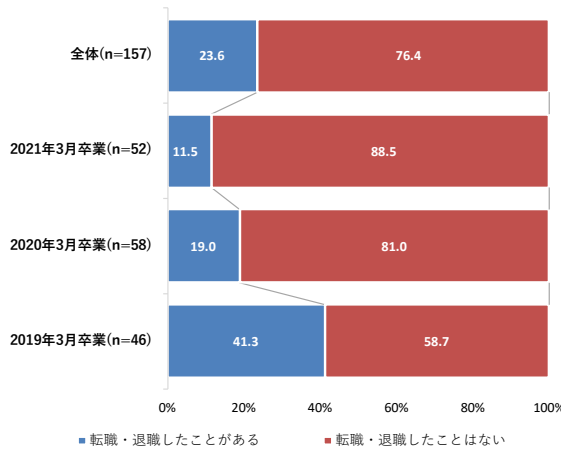
転職・退職の有無について尋ねたところ、約4分の1が「転職・退職したことがある」と回答した。

転職・退職の有無

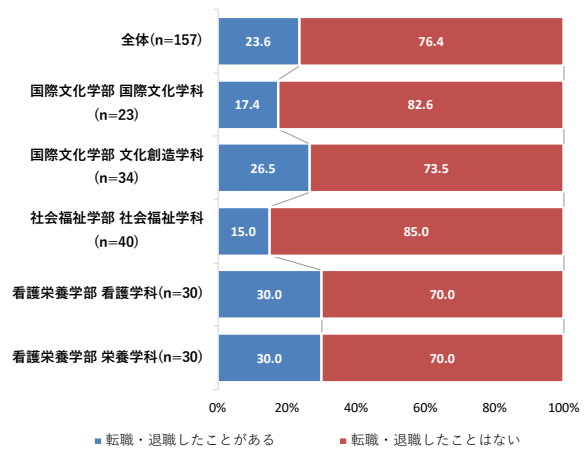


転職・退職の有無について卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計を行ったところ、以下の通りとなった。2019年3月卒業生（卒業から約4年経過）の4割超が転職・退職している点が目立つ。

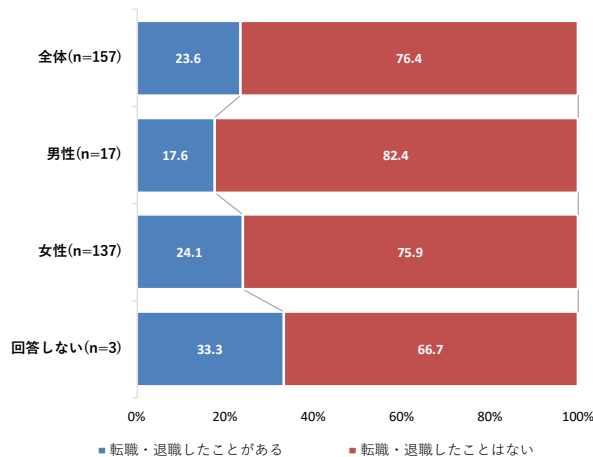
転職・退職の有無 (卒業年月別)



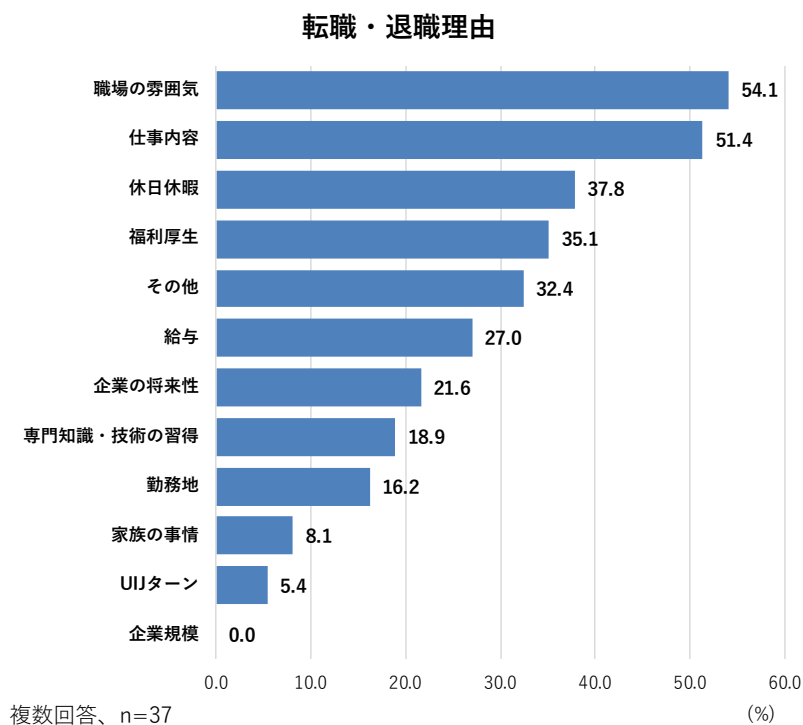
転職・退職の有無 (卒業学部・学科別)



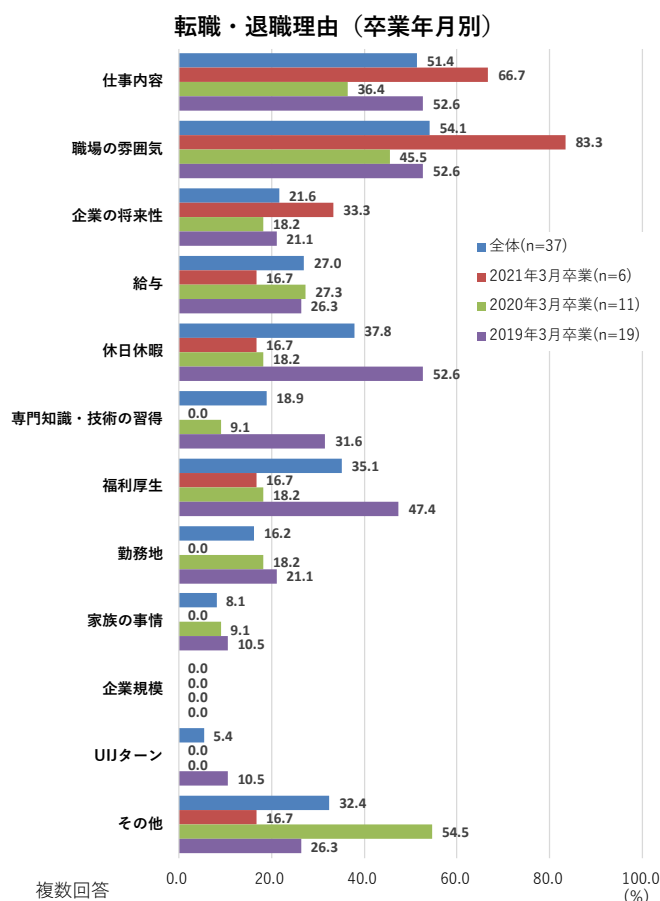
転職・退職の有無 (性別)



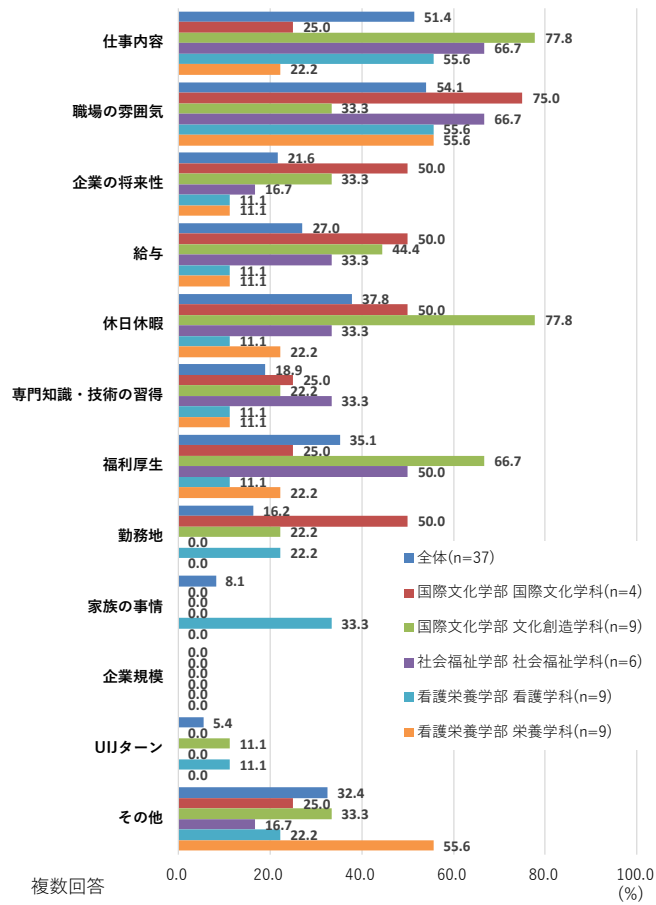
「転職・退職したことがある」と回答した人に、その理由を尋ねたところ（複数回答）、「職場の雰囲気」が5割台と最も多く、「仕事内容」も過半数に達した。



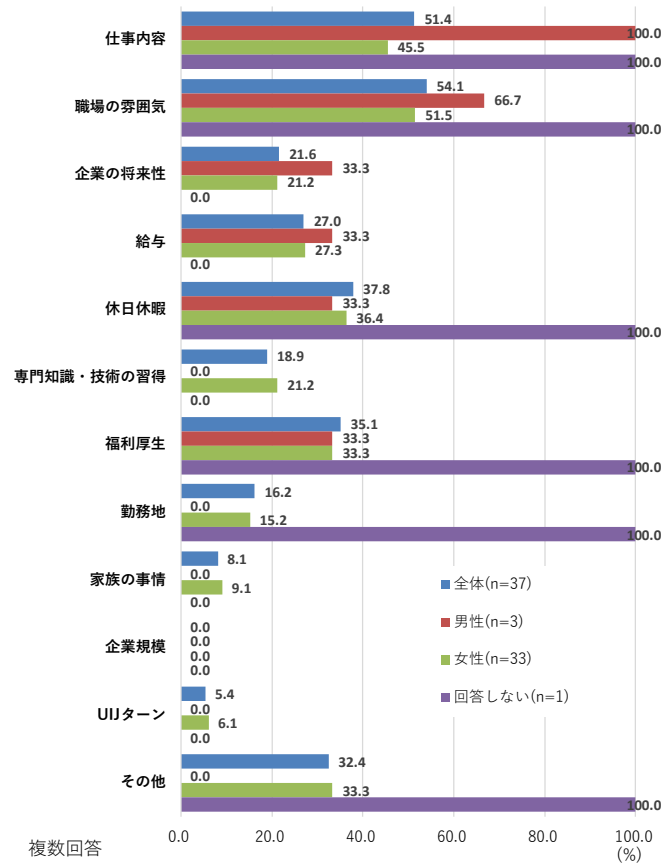
転職・退職の理由について卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計を行ったところ、以下の通りとなった。転職・退職者の多い2019年3月卒業生においては、「休日休暇」や「福利厚生」との回答が目立つ。



転職・退職理由（卒業学部・学科別）

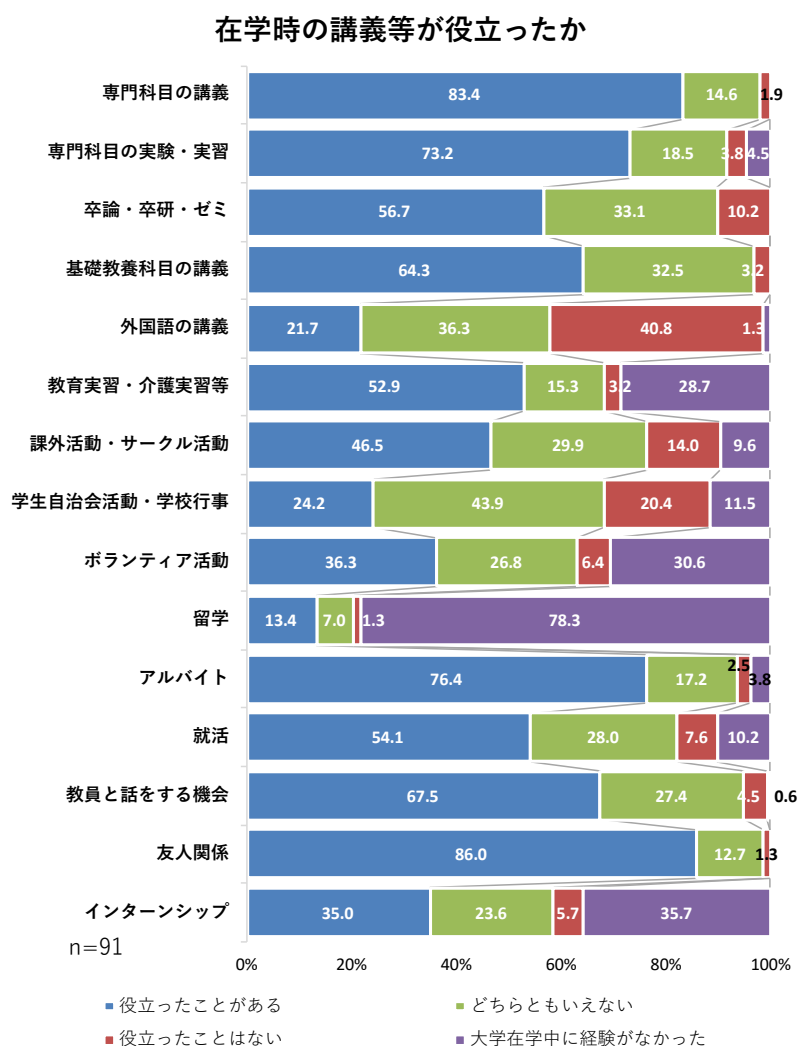


転職・退職理由（性別）



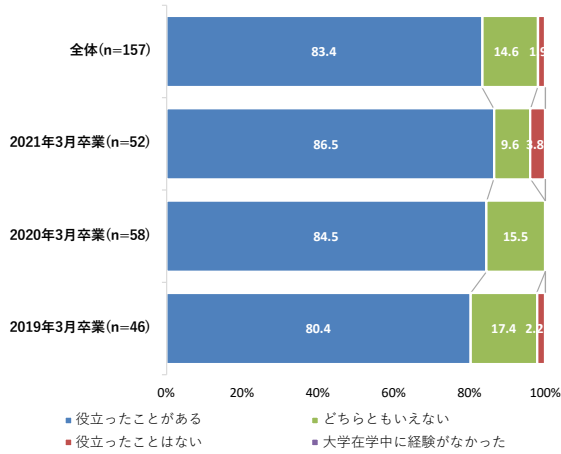
④ 在学時の経験について

講義など、在学時の経験が卒業後に役立ったか、項目ごとに尋ねたところ、以下の通りとなった。「友人関係」と「専門科目の講義」は「役立ったことがある」との回答が8割を超えたほか、「アルバイト」と「専門科目の実験・実習」も「役立ったことがある」が7割台となった。一方、「外国語の講義」については4割が「役立ったことはない」と回答したほか、「学生自治会活動・学校行事」について、「役立ったことはない」が2割に達した。

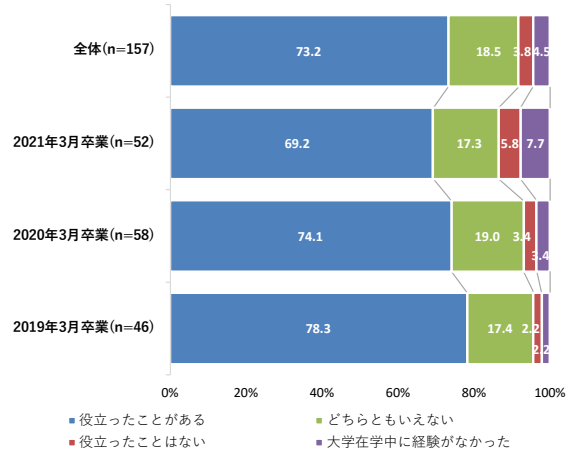


上記の回答について卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計を行ったところ、次ページ以降の通りとなった。「専門科目の実験・実習」については社会福祉学部社会福祉学科や看護栄養学部看護学科の卒業生、「教育実習・介護実習等」については社会福祉学部社会福祉学科や看護栄養学部の卒業生において、「役立ったことがある」との回答が多い。

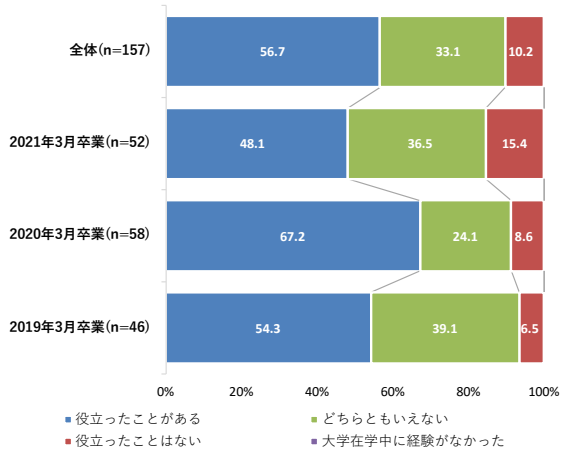
専門科目の講義役立ったか
(卒業年月別)



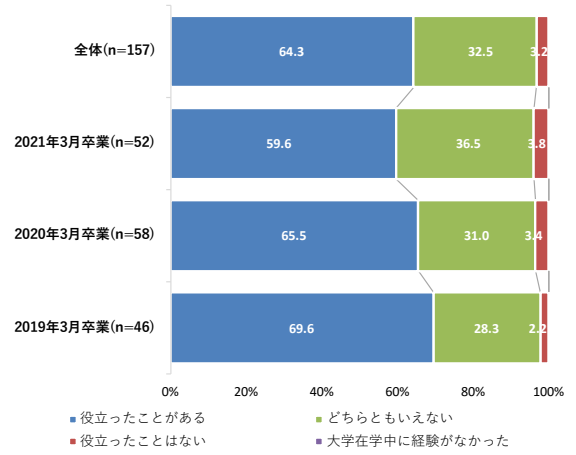
専門科目の実験・実習役立ったか
(卒業年月別)



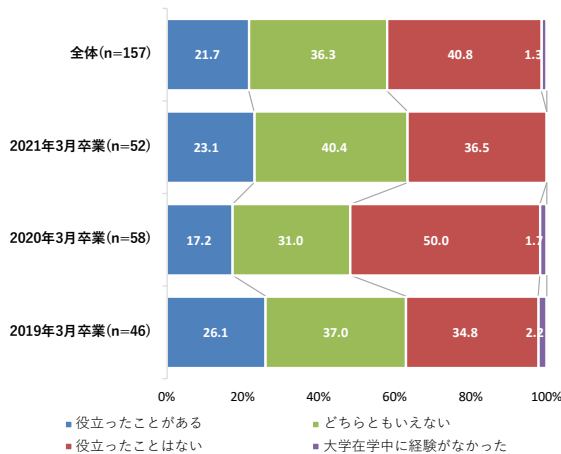
卒論・卒研・ゼミ役立ったか
(卒業年月別)



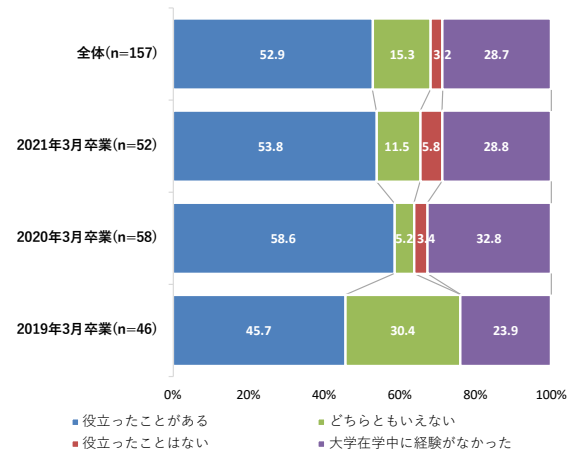
基礎教養科目の講義役立ったか
(卒業年月別)



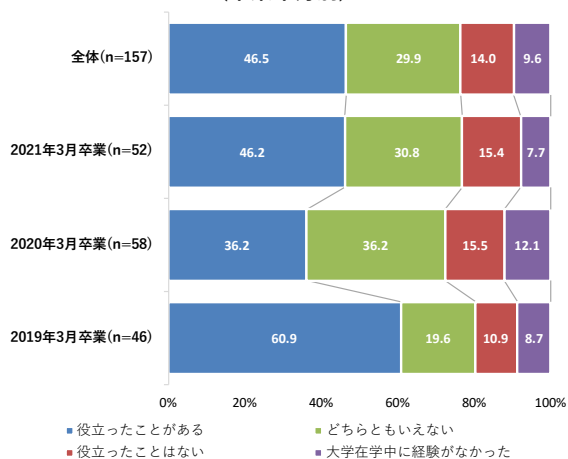
外国語の講義役立ったか
(卒業年月別)



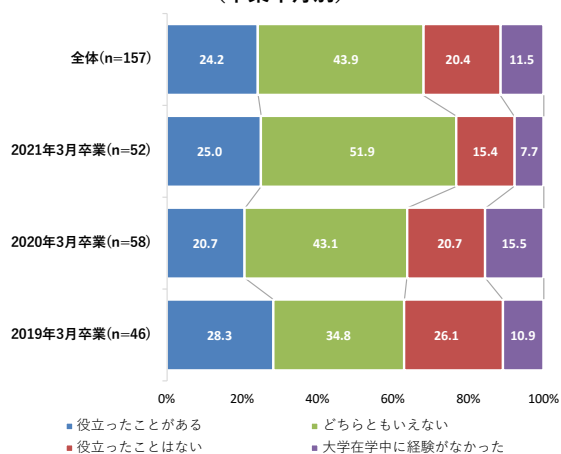
教育実習・介護実習等役立ったか
(卒業年月別)



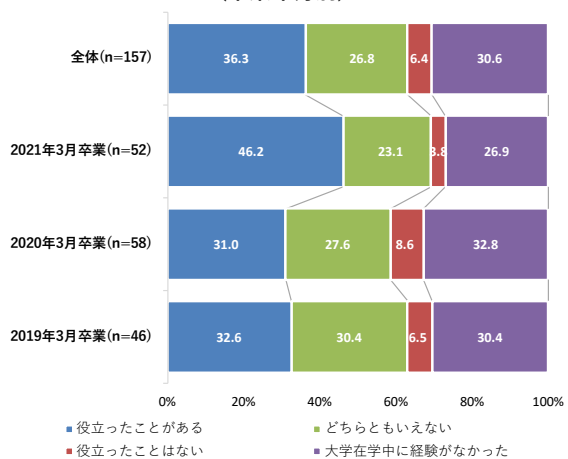
課外活動・サークル活動役立ったか
(卒業年月別)



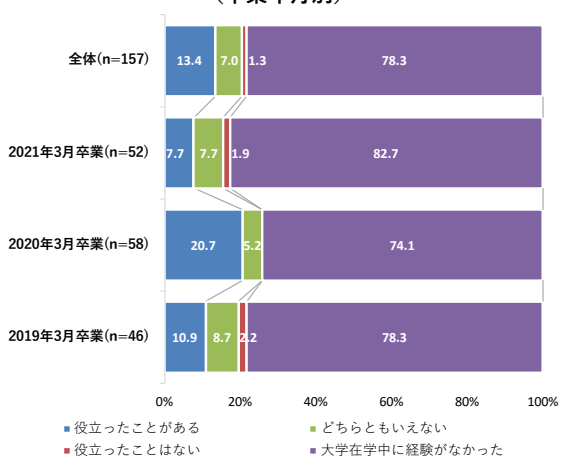
学生自治会活動・学校行事役立ったか
(卒業年月別)



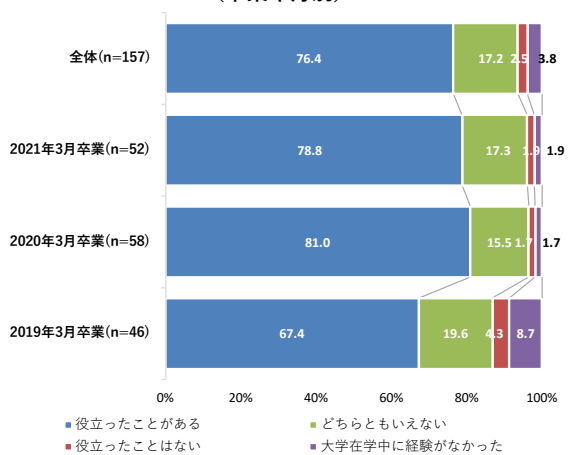
ボランティア活動役立ったか
(卒業年月別)



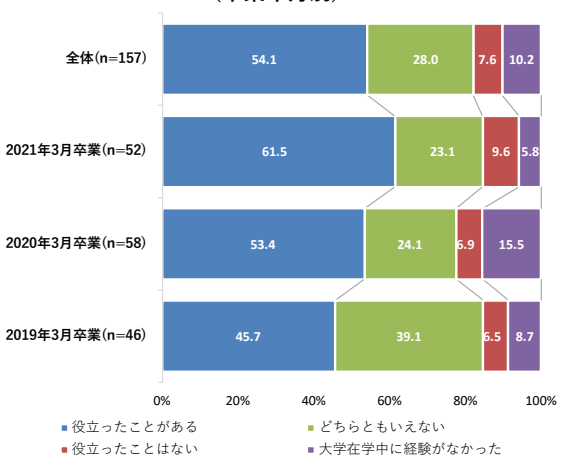
留学役立ったか
(卒業年月別)



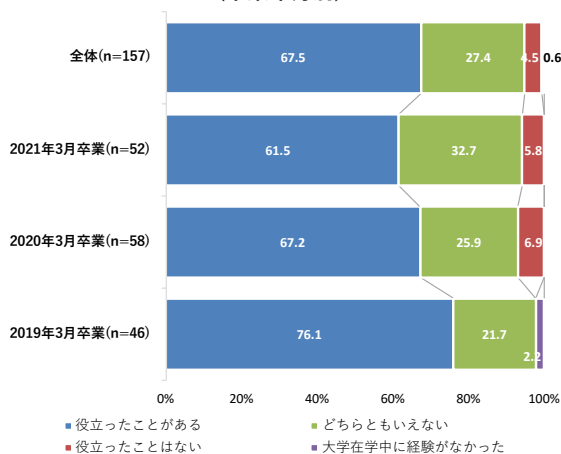
アルバイト役立ったか
(卒業年月別)



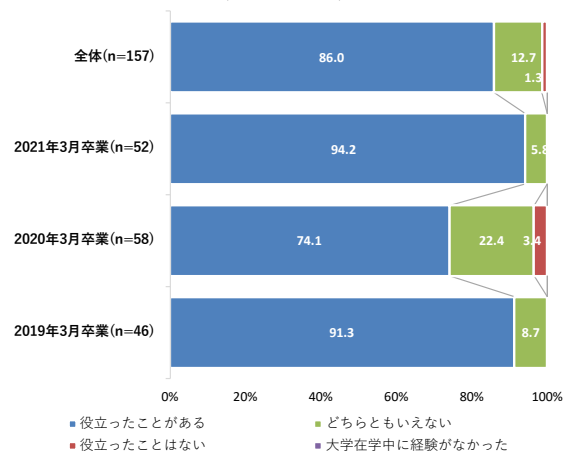
就活役立ったか
(卒業年月別)



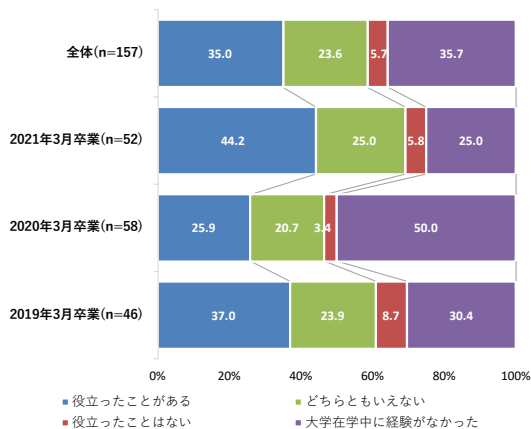
教員と話をする機会役立ったか
(卒業年月別)



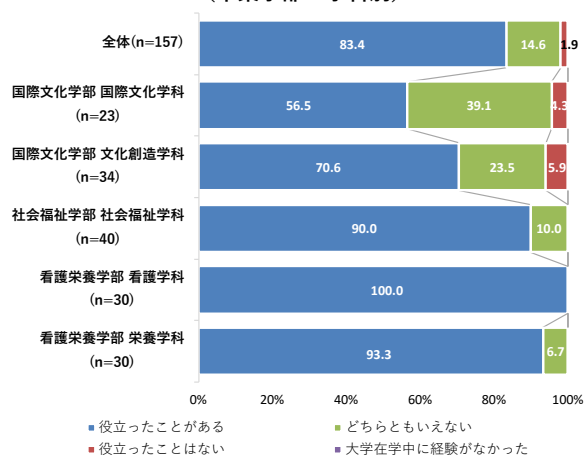
友人関係役立ったか
(卒業年月別)



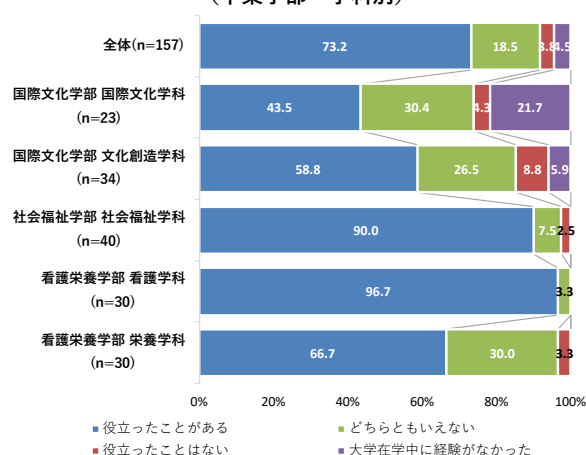
インターンシップ役立ったか
(卒業年月別)



専門科目の講義役立ったか
(卒業学部・学科別)

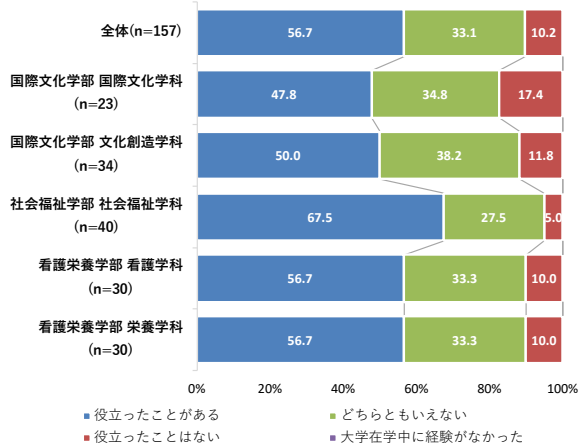


専門科目の実験・実習役立ったか
(卒業学部・学科別)



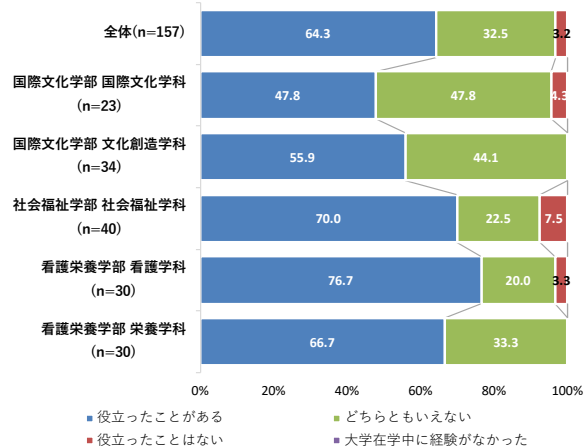
卒論・卒研・ゼミ役立ったか

(卒業学部・学科別)



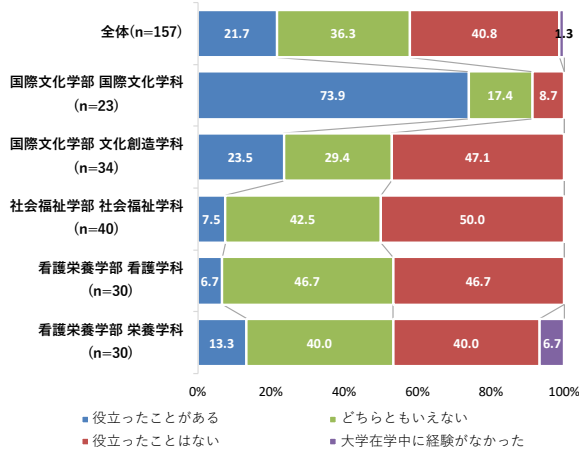
基礎教養科目の講義役立ったか

(卒業学部・学科別)



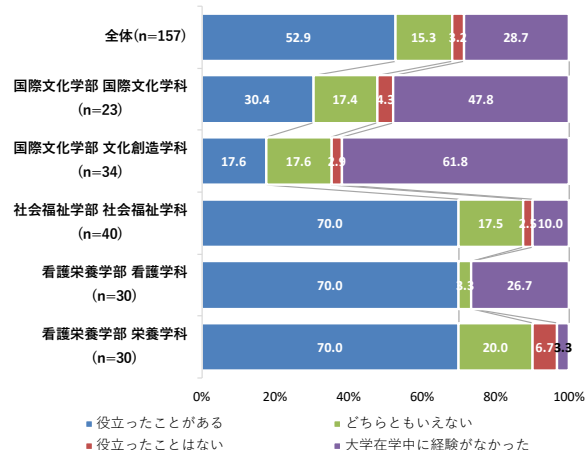
外国語の講義役立ったか

(卒業学部・学科別)



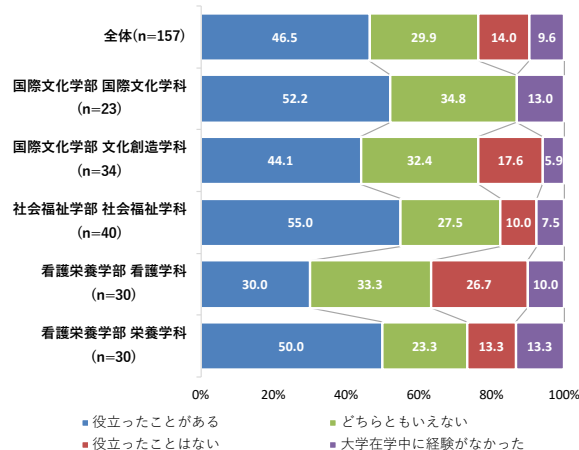
教育実習・介護実習等役立ったか

(卒業学部・学科別)



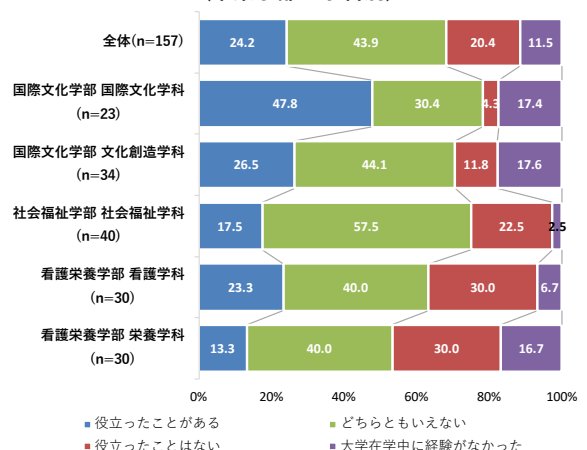
課外活動・サークル活動役立ったか

(卒業学部・学科別)

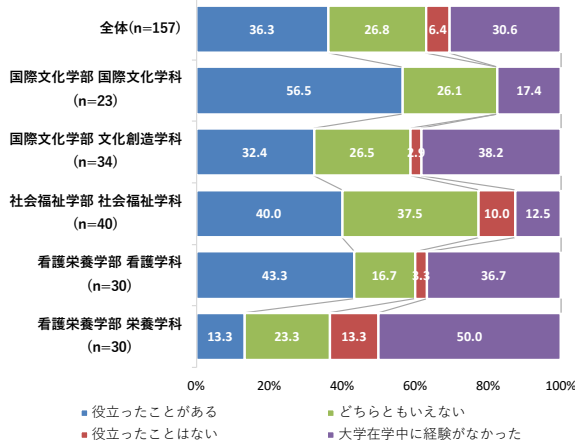


学生自治会活動・学校行事役立ったか

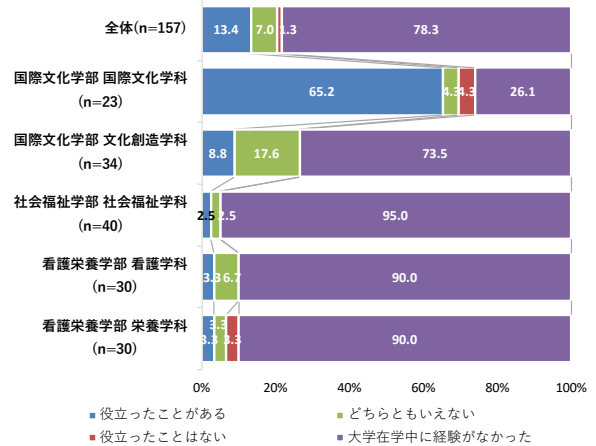
(卒業学部・学科別)



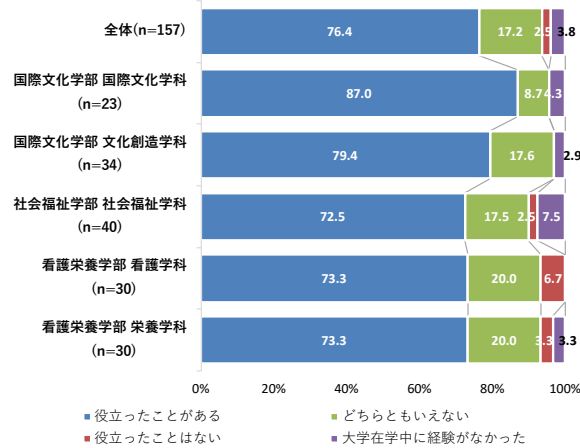
ボランティア活動役立ったか
(卒業学部・学科別)



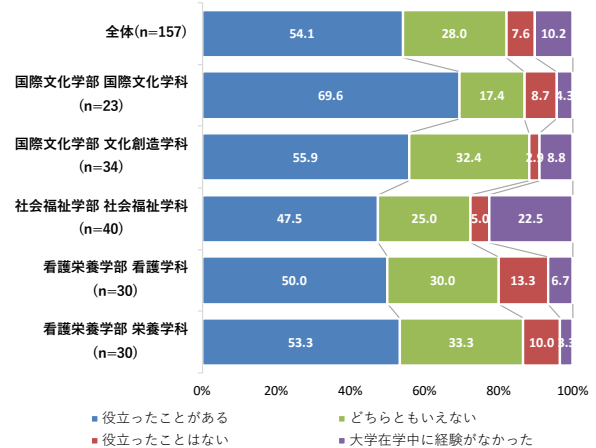
留学役立ったか
(卒業学部・学科別)



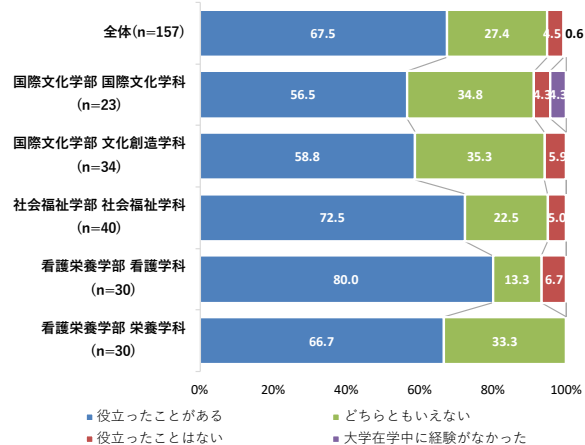
アルバイト役立ったか
(卒業学部・学科別)



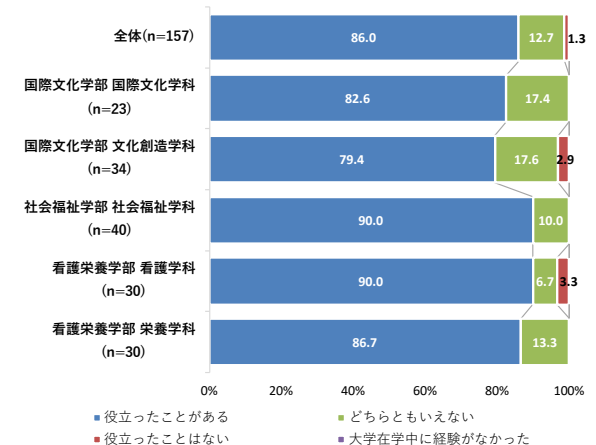
就活役立ったか
(卒業学部・学科別)



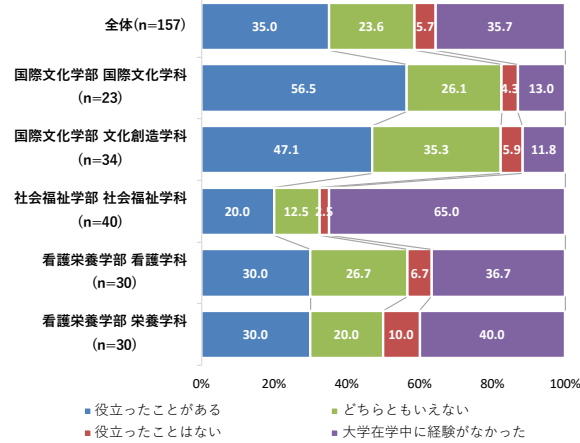
教員と話をする機会役立ったか
(卒業学部・学科別)



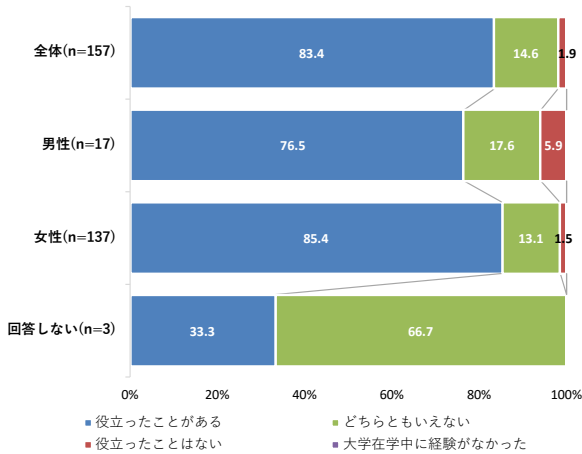
友人関係役立ったか
(卒業学部・学科別)



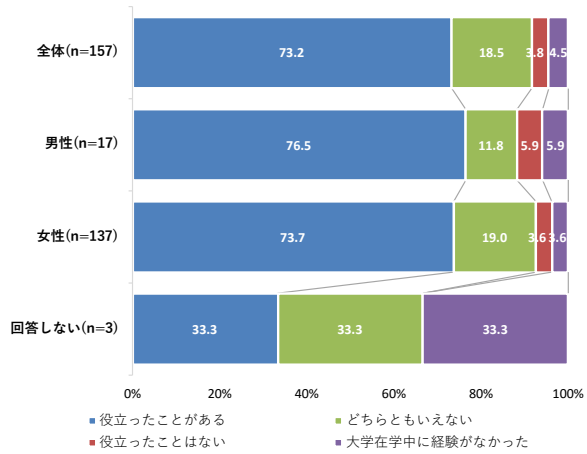
インターンシップ役立ったか (卒業学部・学科別)



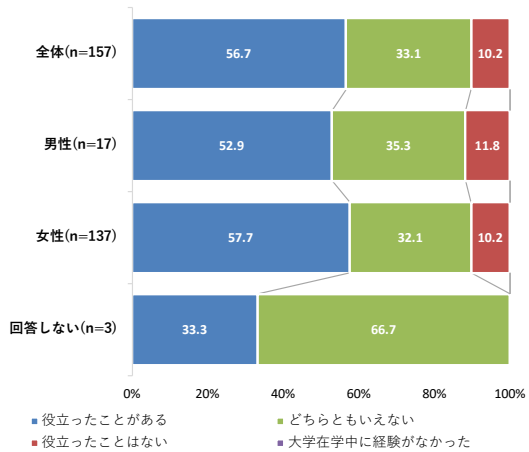
専門科目の講義役立ったか (性別)



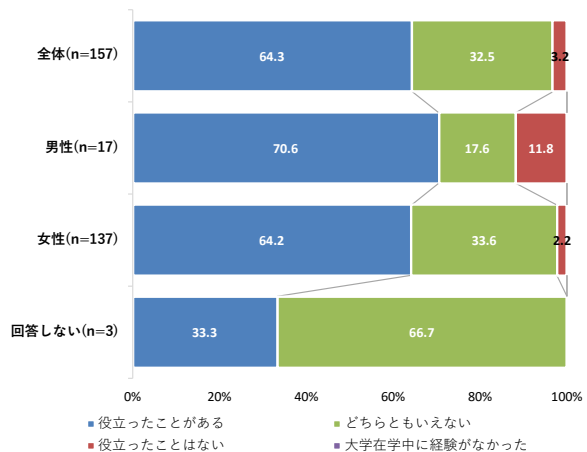
専門科目の実験・実習役立ったか (性別)



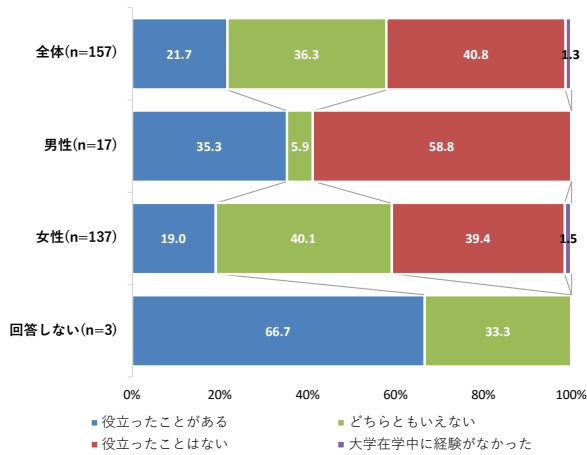
卒論・卒研・ゼミ役立ったか (性別)



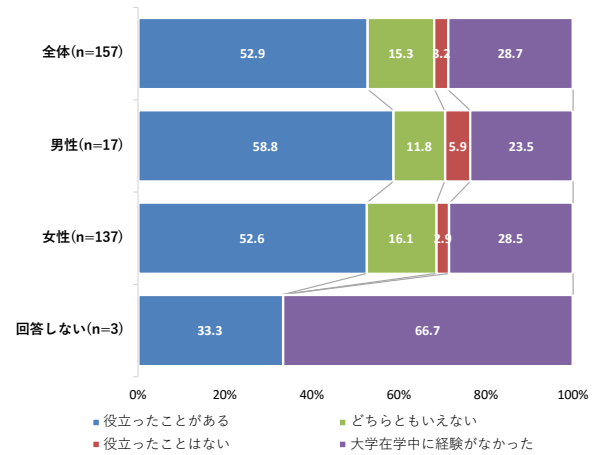
基礎教養科目の講義役立ったか (性別)



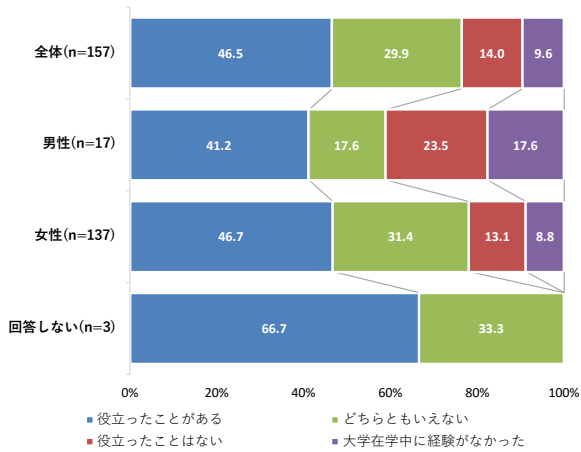
外国語の講義役立ったか
(性別)



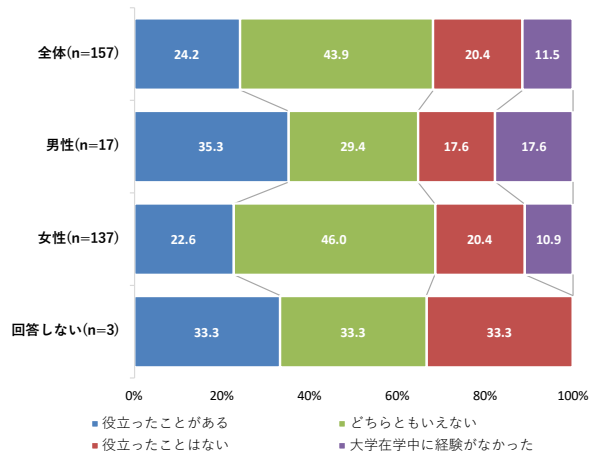
教育実習・介護実習等役立ったか
(性別)



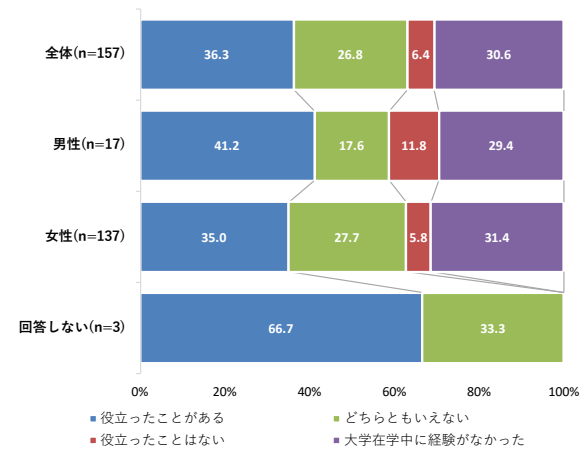
課外活動・サークル活動役立ったか
(性別)



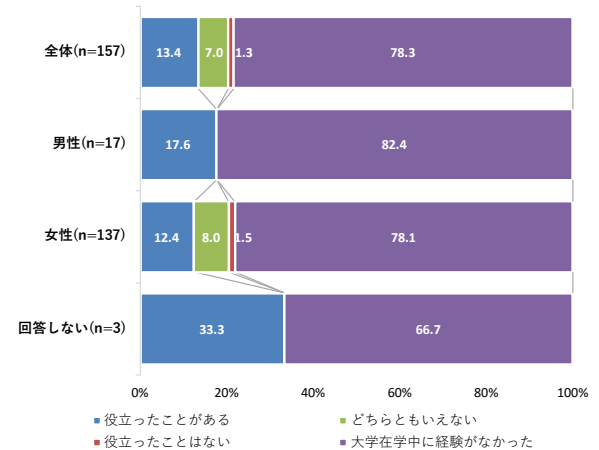
学生自治会活動・学校行事役立ったか
(性別)



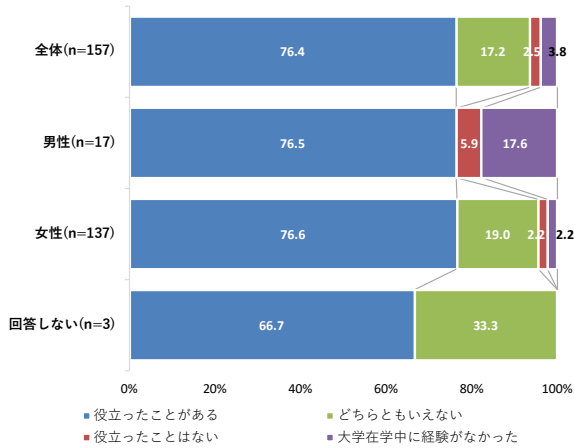
ボランティア活動役立ったか
(性別)



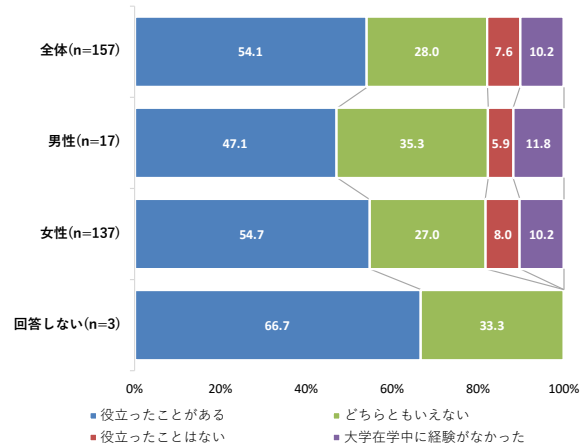
留学役立ったか
(性別)



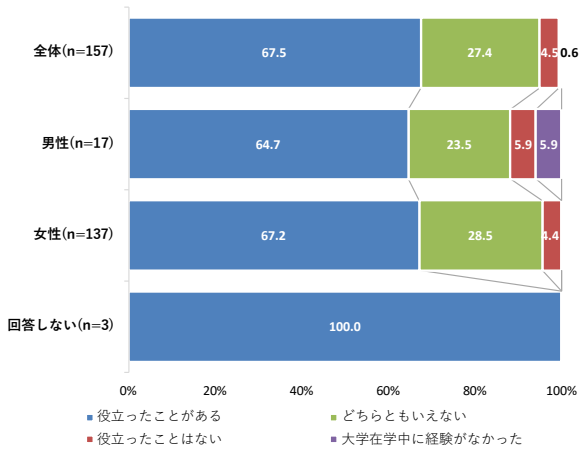
アルバイト役立ったか
(性別)



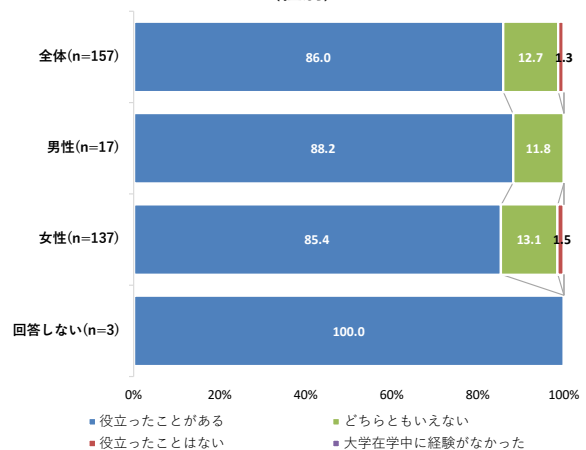
就活役立ったか
(性別)



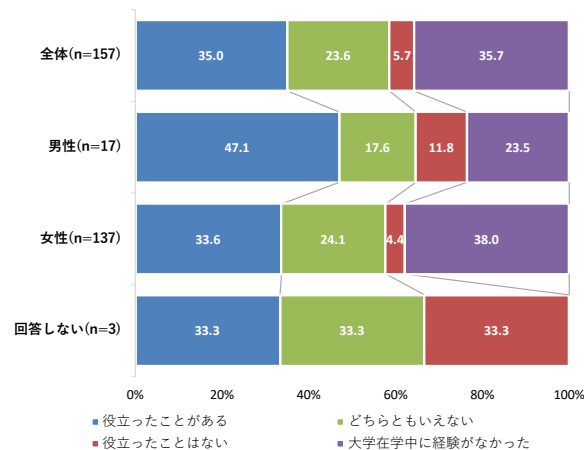
教員と話をする機会役立ったか
(性別)



友人関係役立ったか
(性別)



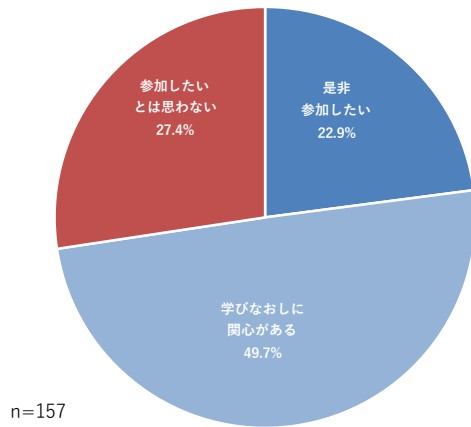
インターンシップ役立ったか
(性別)



⑤ 学び直しについて

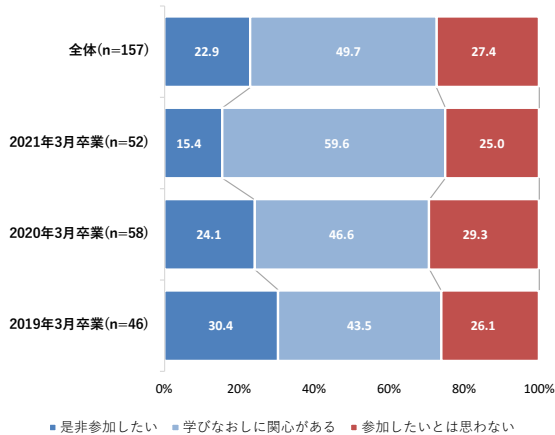
学び直しプログラムの参加意向を尋ねたところ、「是非参加したい」との回答が2割を超えたほか、「学び直しに関心がある」がほぼ半数を占めた。

学びなおしプログラム参加意向

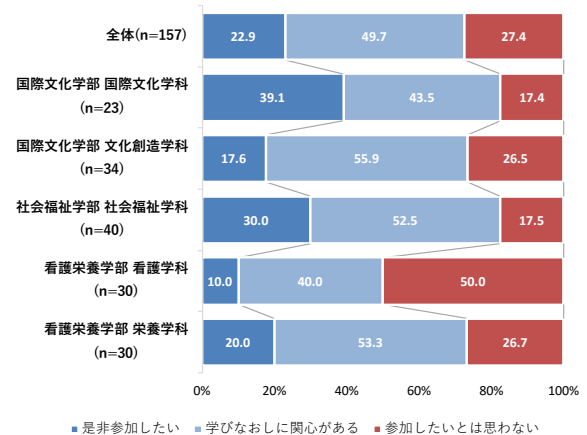


学び直しプログラムの参加意向について、卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計を行ったところ、以下の通りとなった。国際文化学部国際文化学科の卒業生のほぼ4割が「是非参加したい」と回答している。

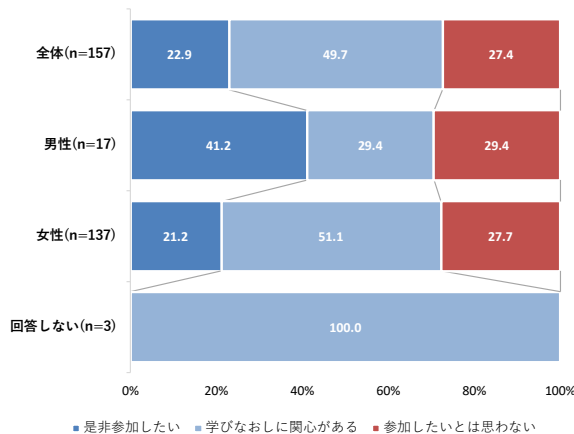
学びなおしプログラム参加意向
(卒業年月別)



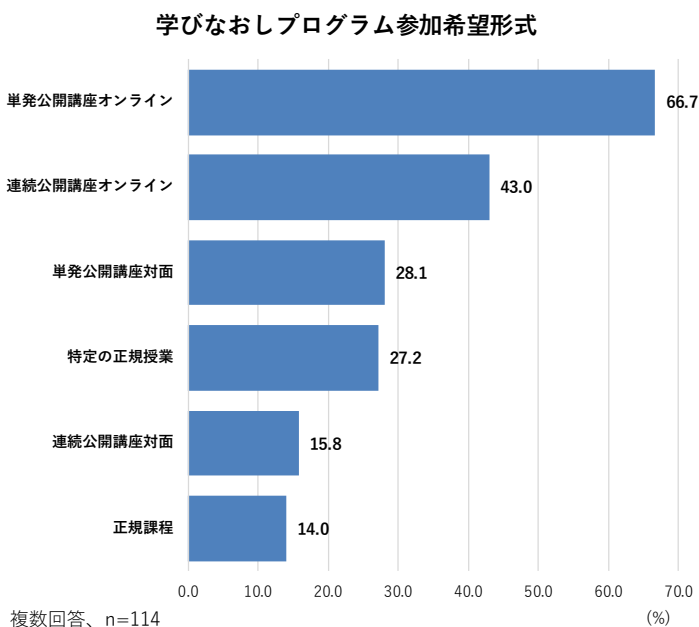
学びなおしプログラム参加意向
(卒業学部・学科別)



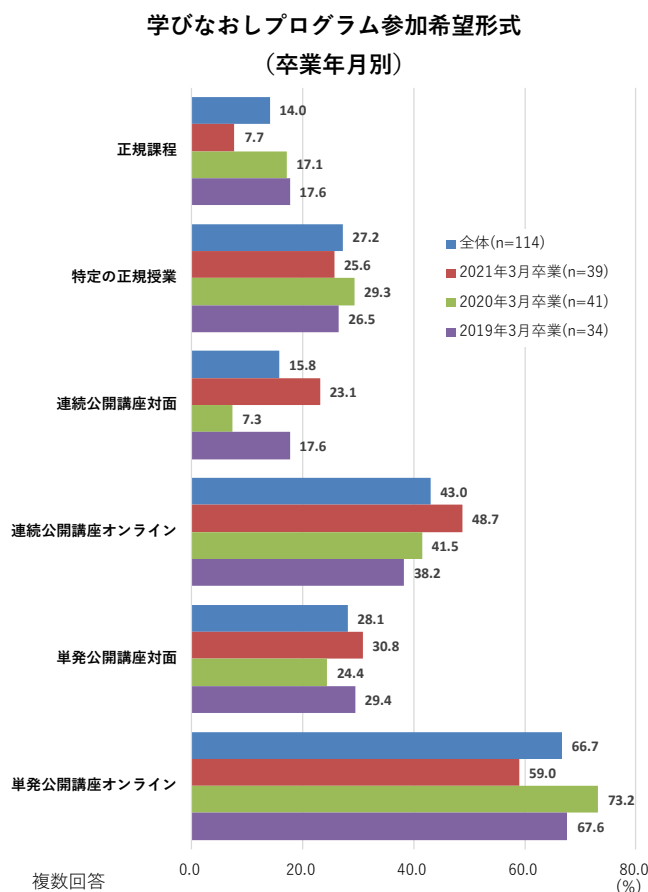
学びなおしプログラム参加意向
(性別)



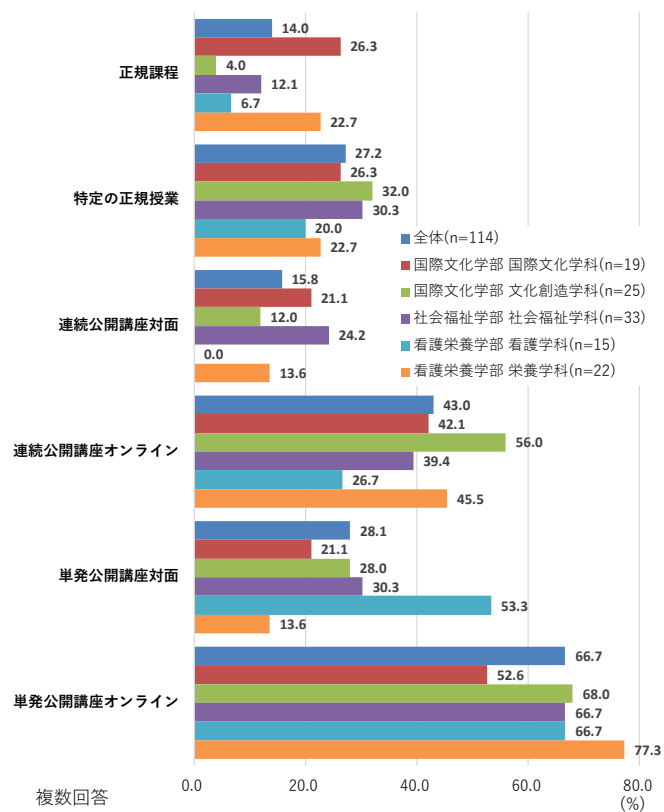
上記で「是非参加したい」もしくは「学び直しに関心がある」と回答した人に、学び直しプログラムの参加希望形式を尋ねたところ（複数回答）、「単発の公開講座（オンライン）」が3分の2と最も多く、次いで「連続の公開講座（オンライン）」が4割を超えた。



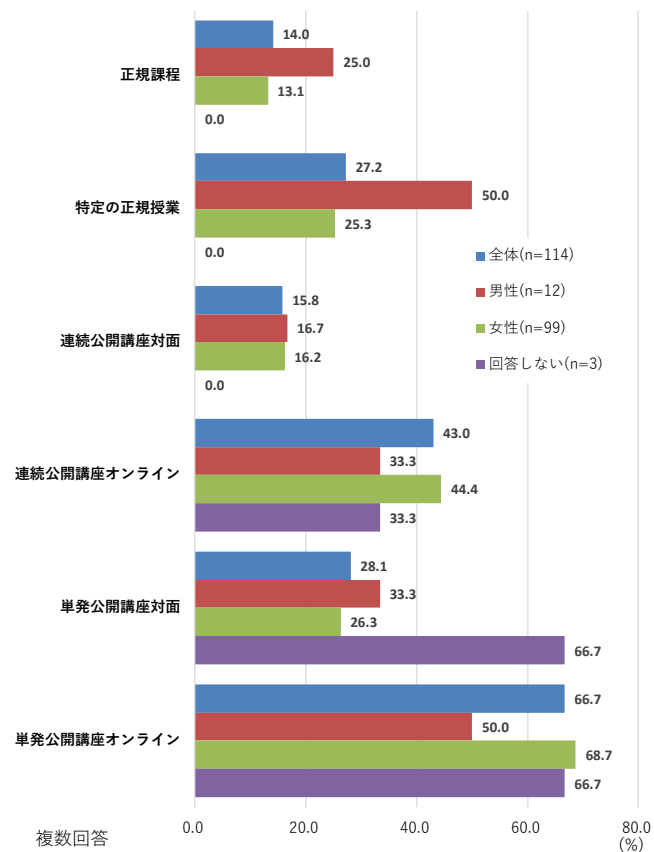
学び直しプログラムの参加希望形式について、卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計を行ったところ、以下の通りとなった。



学びなおしプログラム参加希望形式 (卒業学部・学科別)

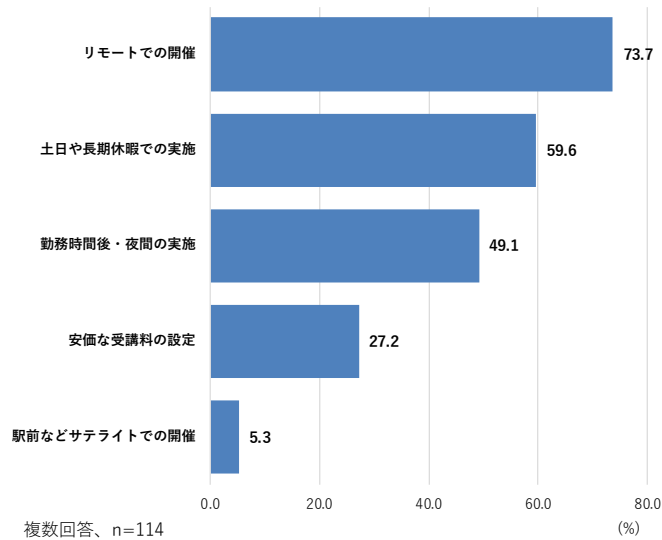


学びなおしプログラム参加希望形式 (性別)



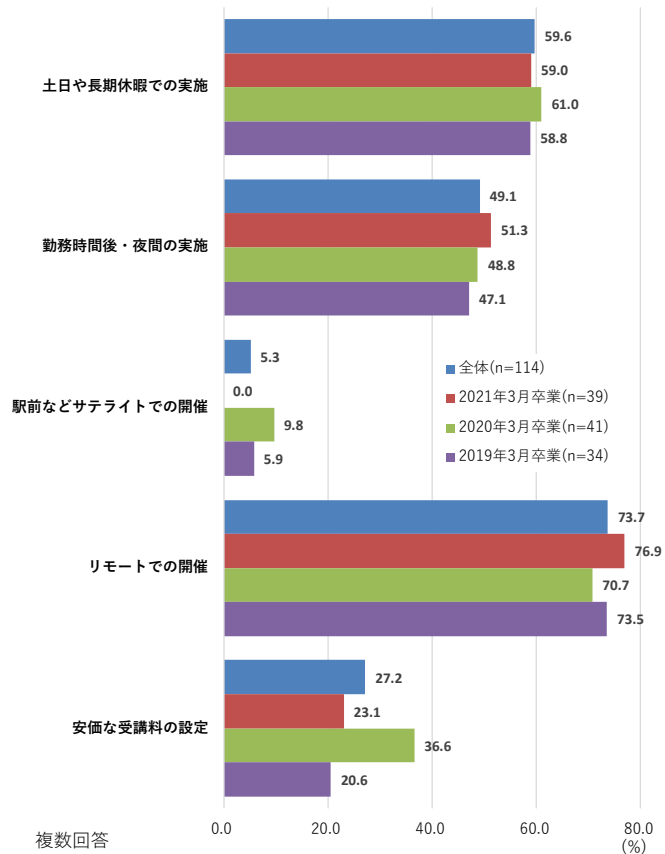
学び直しプログラムに「是非参加したい」もしくは「学び直しに関心がある」と回答した人に、参加条件を尋ねたところ（複数回答）、「リモートでの開催」が7割超と最も多く、次いで「土日や長期休暇での実施」がほぼ6割に達した。

学びなおしプログラム参加条件

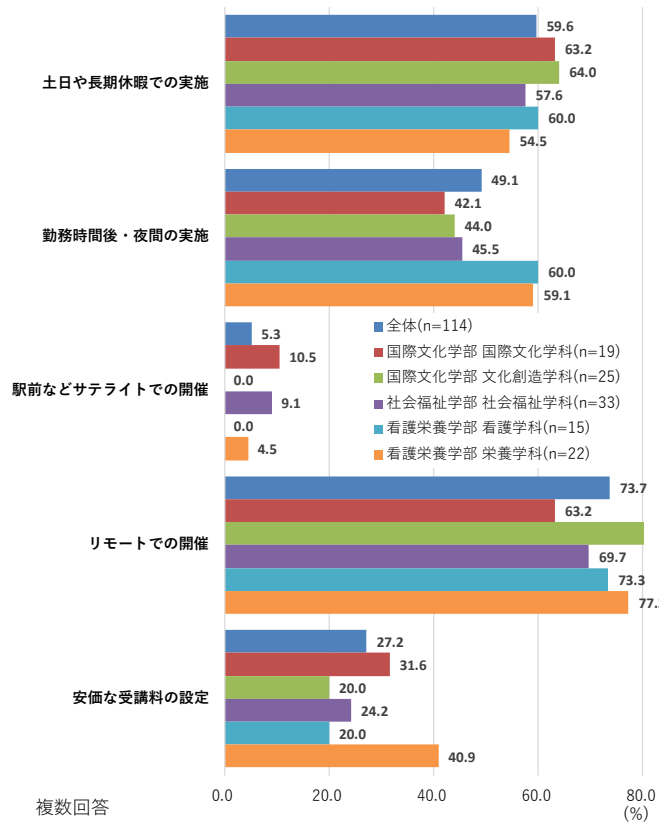


学び直しプログラムの参加条件について、卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計を行ったところ、以下の通りとなった。

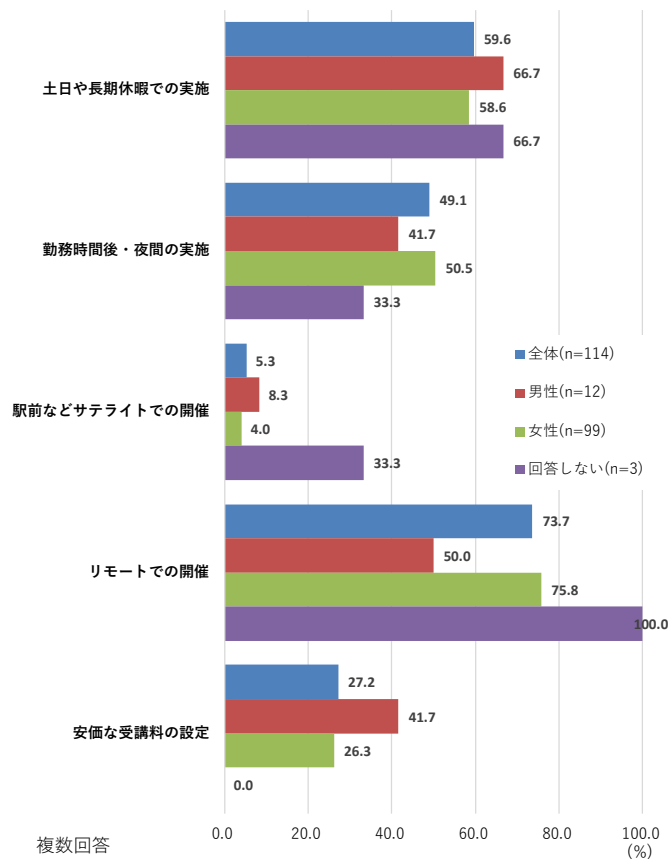
学びなおしプログラム参加条件（卒業年月別）



学びなおしプログラム参加条件
(卒業学部・学科別)



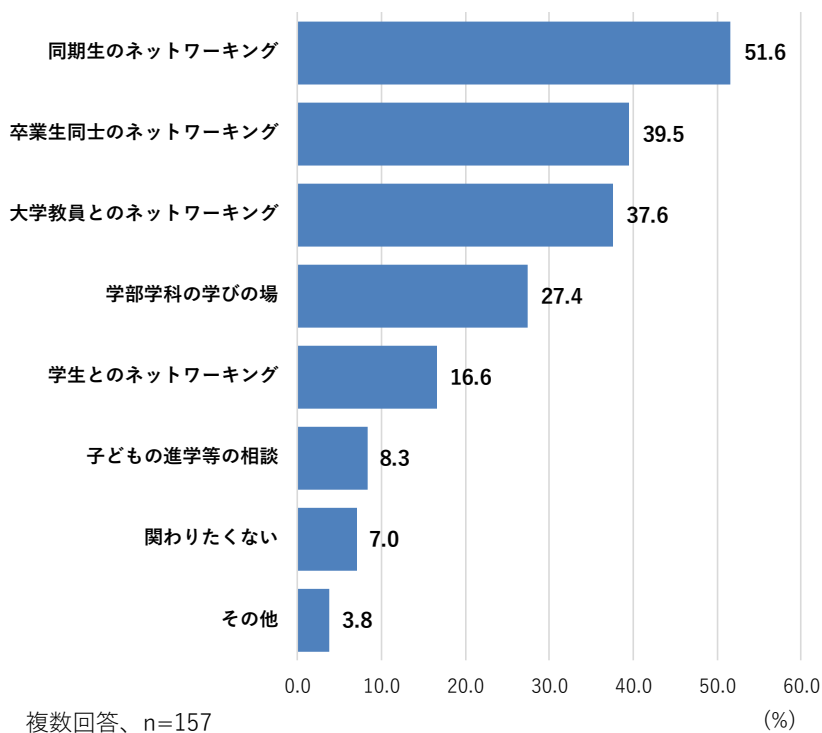
学びなおしプログラム参加条件 (性別)



⑥ 本学と関わりたい事項について

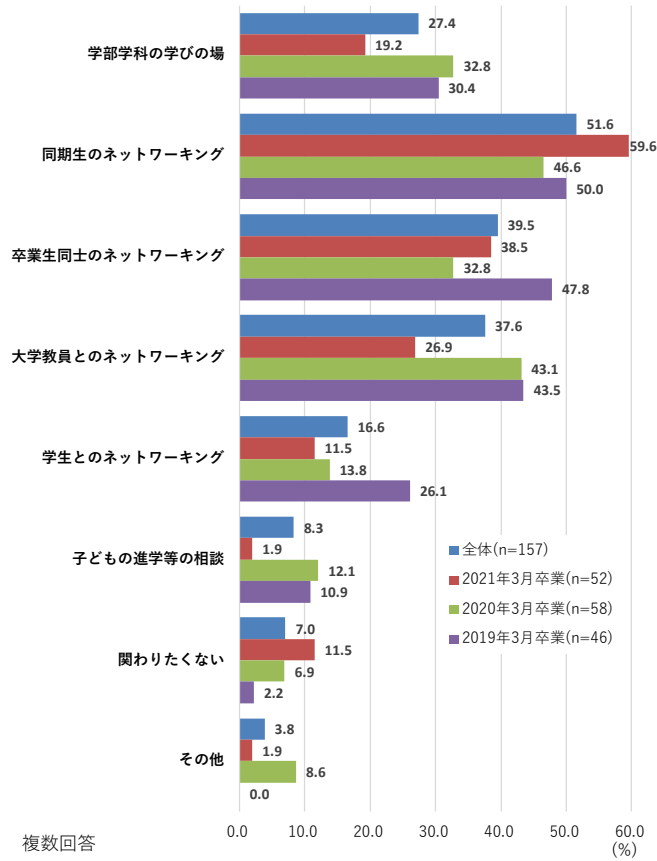
本学と関わりたい事項について尋ねたところ（複数回答）、「同期生のネットワーキング」が過半数に達し最も多かったほか、「卒業生同士のネットワーキング」がほぼ4割となり、「大学教員とのネットワーキング」が3割台後半となった。

県立大と関わりたい事項

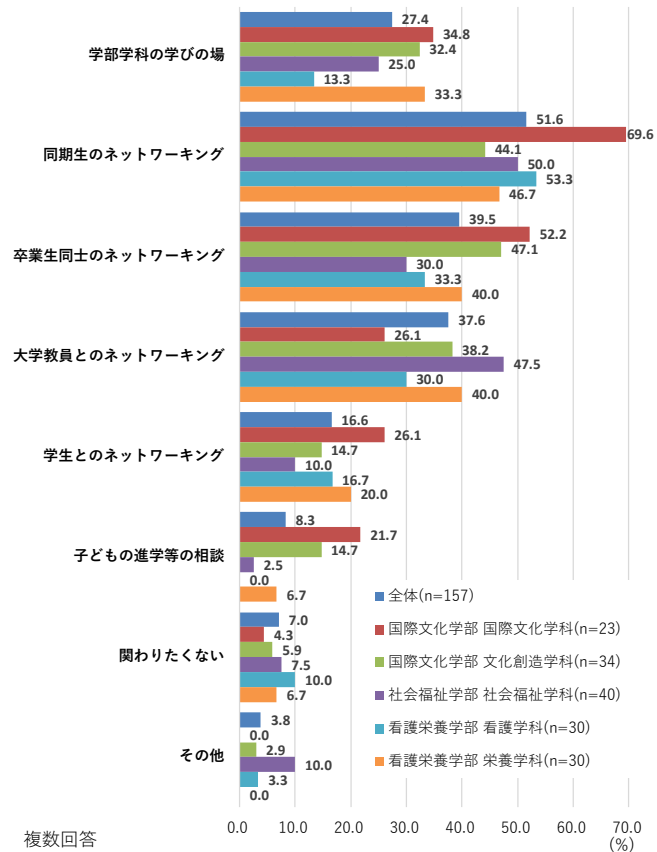


本学と関わりたい事項について、卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計を行ったところ、次ページ以降の通りとなった。国際文化学部国際文化学科の卒業生のほぼ7割が「同期生のネットワーキング」を挙げている。

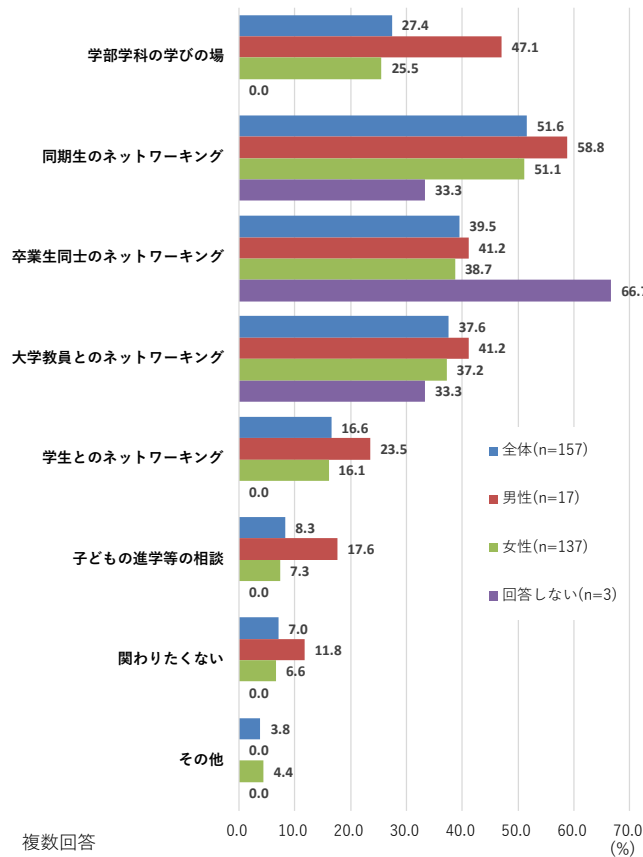
県立大と関わりたい事項（卒業年月別）



県立大と関わりたい事項（卒業学部・学科別）



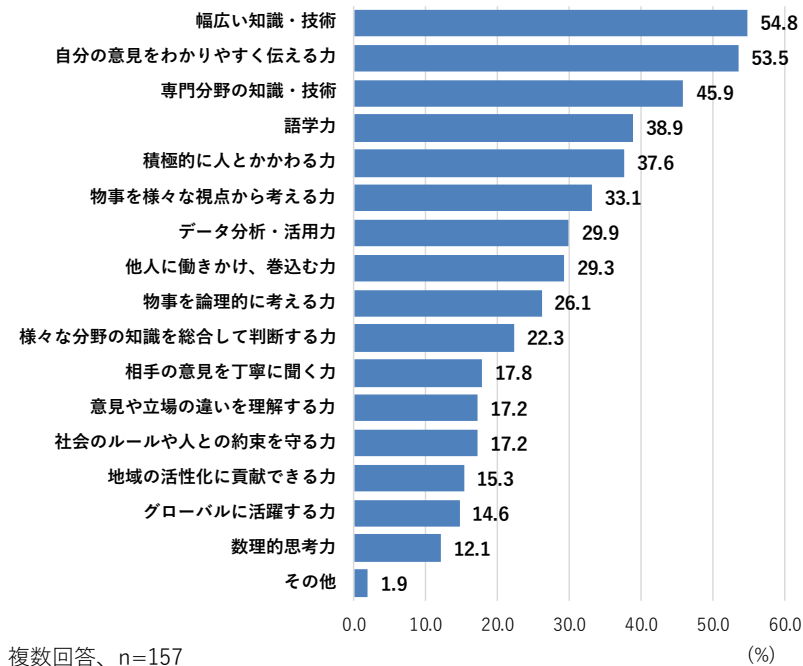
県立大と関わりたい事項（性別）



⑦ 在学時に身に付けておけばよかった知識等について

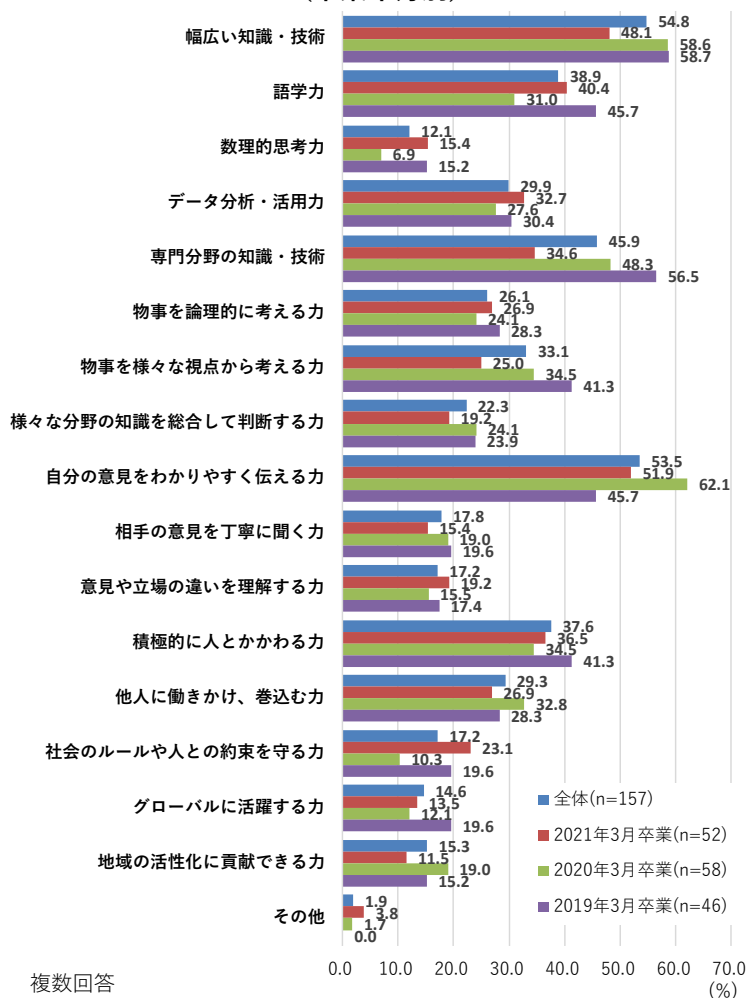
在学時に身に付けておけばよかった知識等について尋ねたところ(複数回答)、「幅広い知識・技術」が5割を超え最も多かったほか、「自分の意見をわかりやすく伝える力」も5割台となった。また、「専門分野の知識・技術」が4割台後半となったほか、「語学力」や「積極的に人とかかわる力」が4割近くに達した。

在学中に身に付けておけばよかった知識等

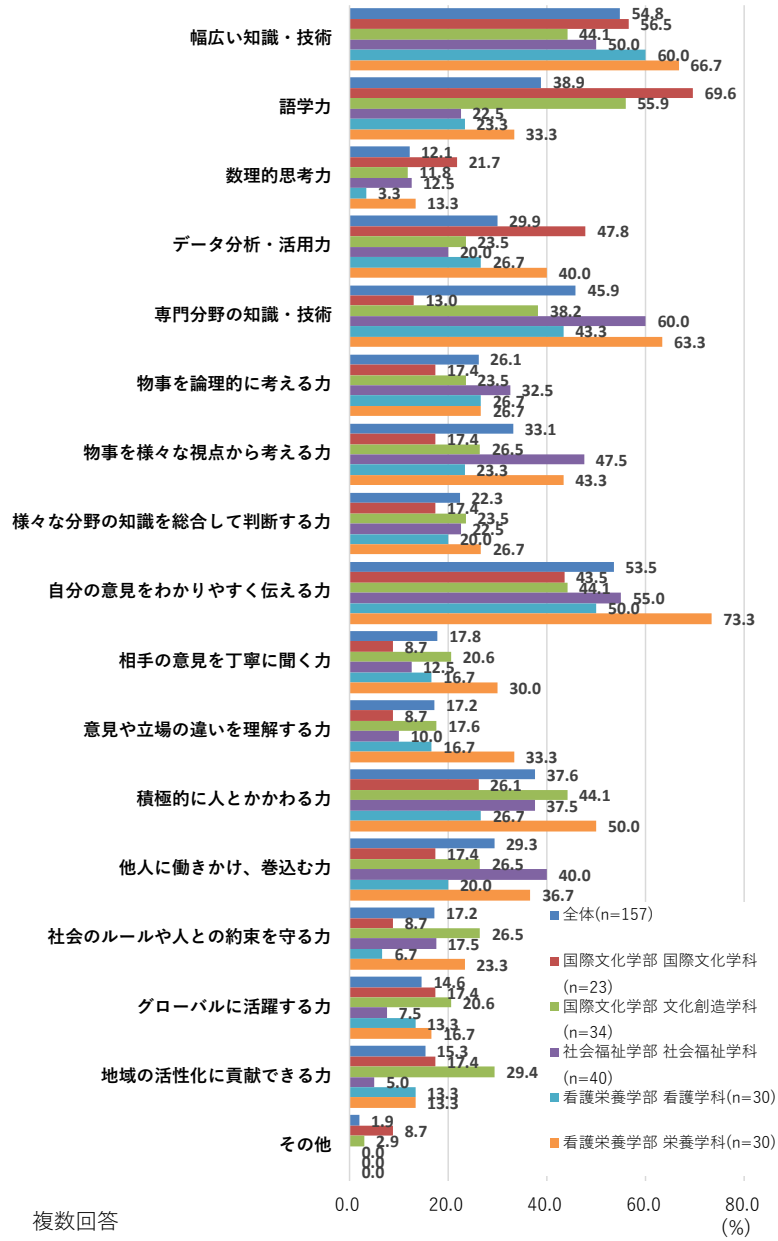


在学時に身に付けておけばよかった知識等について、卒業年月別、卒業学部・学科別、性別でクロス集計を行ったところ、以下の通りとなった。卒業学部・学科別の回答において、看護栄養学部栄養学科卒業生の7割超が「自分の意見をわかりやすく伝える力」を挙げるなど、学部・学科ごとの違いが見受けられる。

在学中に身に付けておけばよかった知識等 (卒業年月別)



在学中に身に付けておけばよかった知識等
(卒業学部・学科別)



在学中に身に付けておけばよかった知識等

(性別)

